

平成30年

臨地・薬局実習報告書

城西大学 薬学部
医療栄養学科

平成 30 年 城西大学薬学部医療栄養学科
臨地・薬局実習報告書

目次

1. ・挨拶 「学部長 小林 大介」	1
2. ・「臨地・薬局実習」実施要領	5
3. ・受入施設一覧	11
4. ・シラバス	17
5. ・導入教育	25
6. ・臨地・薬局実習カリキュラム例	31
7. ・学生の感想・反省	41
8. ・実習評価と意見・要望	67

1. 挨 拶

ご挨拶

城西大学薬学部長 小林 大介

城西大学薬学部医療栄養学科の2018年度 臨地・薬局実習が無事終了し、実習報告書を作成する運びとなりました。実習施設となつていただいた病院、保健施設、給食施設、ならびに薬局において、本学学生をご指導くださいました管理栄養士および薬剤師をはじめとする諸先生、また、実習に関連してご協力賜りました多くの方々に心より御礼申し上げます。

我が国においては、極端な少子高齢社会が到来し、それと共に医療制度の大幅な改正が進み、医療職の役割も大きく変わりつつあります。薬学関連の全国規模の会議に出席すると、決まって聞こえてくるのが、2025年問題、そして、2040年問題です。最大の医療需要と税収の低下の中で、効率的・効果的な医療を支えるためには、経済的視点を導入した新たな薬物治療学、そして新たな医療栄養学が必須であり、とりわけ、医療栄養学への期待は膨らむばかりです。

まずは、2025年に向け、医療栄養学と薬学の更なる融合を目指して、本学薬学部は頑張らなければなりません。城西大学は、医療にかかわる管理栄養士の食の専門性を強調し、管理栄養士が幅広く活躍できる社会環境を整えることが必要であると理解しております。

学校法人城西大学は、上原 明 理事長のもと、新たな一步を踏み出しました。そして、次のような管理栄養士育成の目的を掲げています。すなわち、本学の教育を受けて管理栄養士となった者は、医療栄養学の知識に加え、医療人としての専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材であり、次のような能力を有していることを目指しています。

- ・ 医療人としての強い自覚を持ち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍できる能力
- ・ 医療人として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- ・ 医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、医療栄養学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献できる能力
- ・ 医療制度、他職種役割を理解し、チーム医療において主体的かつ協働的に貢献する管理栄養士になる能力
- ・ 医学、薬学の素養を有し、関連する広範な分野で人々の健康を護るために活躍できる管理栄養士になる能力

本年の実習でお世話になったすべての本学学生に対しまして配慮にみちた心温まるご指導を賜り、大きく成長させていただきましたことに対して、心から感謝申し上げる次第です。ここに作成いたしました臨地・薬局実習報告書をご高覧の上、ご意見、ご批判をお寄せいただければ幸甚に存じます。本年の本学実習に対する多大なご協力に対して、重ねて御礼申し上げるとともに、今後も変わらぬご指導、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

2. 「臨地・薬局実習」実施要領

平成 30 年 臨地実習 A（臨床栄養学）実施要領

1. 目的 病院における管理栄養士の臨床栄養実務の実習
2. 対象学生 4 年生
3. 実施期間 平成 30 年 6 月から 8 月までのうち 3 週間
4. 実施施設 病院
5. 単位数 3 単位，必修
6. 実習書 大学独自で作成したもの
7. 成績評価 受入れ施設側の指導責任者の成績評価を城西大学薬学部医療栄養学科の教科委員会がとりまとめて認定
8. 保 険 学生教育研究災害傷害保険，個人賠償責任保険，感染症保険，施設賠償責任保険

平成 30 年 臨地実習 B（給食経営管理・給食運営）実施要領

1. 目的 特定給食施設における管理栄養士の給食管理実務の実習
2. 対象学生 3 年生または 4 年生
3. 実施期間 平成 30 年 3 月と 6 月のうち 1 週間
4. 実施施設 病院および特定給食施設
5. 単位数 1 単位，必修
6. 実習書 大学独自で作成したもの
7. 成績評価 受入れ施設側の指導責任者の成績評価を城西大学薬学部医療栄養学科の教科委員会がとりまとめて認定
8. 保 険 学生教育研究災害傷害保険，個人賠償責任保険，感染症保険，施設賠償責任保険

平成 30 年 臨地実習 C (公衆栄養) 実施要領

1. 目的 保健所, 保健センターにおける管理栄養士の公衆栄養実務の実習
2. 対象学生 4 年生
3. 実施期間 平成 30 年 6 月のうち 1 週間
4. 実施施設 保健施設
5. 単位数 1 単位, 選択
6. 実習書 大学独自で作成したもの
7. 成績評価 受入れ施設側の指導責任者の成績評価を城西大学薬学部医療栄養学科の教科委員会がとりまとめて認定
8. 保 険 学生教育研究災害傷害保険, 個人賠償責任保険, 感染症保険, 施設賠償責任保険

平成 30 年 薬局実習 実施要領

1. 目的 薬局における管理栄養士実務の実習
2. 対象学生 3 年生または 4 年生
3. 実施期間 平成 30 年 3 月から 8 月までのうち 1 週間
4. 実施施設 薬局
5. 単位数 1 単位，選択
6. 実習書 大学独自で作成したもの
7. 成績評価 受入れ施設側の指導責任者の成績評価を城西大学薬学部医療栄養学科の教科委員会がとりまとめて認定
8. 保 険 学生教育研究災害傷害保険，個人賠償責任保険，感染症保険，施設賠償責任保険

3. 受入施設一覧

臨地実習A（臨床栄養）・B（給食経営管理・給食運営）実習施設（病院）

	実習施設名称	実習日程	人数	都道府県	市町村
1	草加市立病院	6/25-7/20	1	埼玉県	草加市
2	特定医療法人ジャパンメディカルアライアンス 東埼玉総合病院	7/2-7/27	2	埼玉県	幸手市
3	独立行政法人 国立病院機構 東埼玉病院	7/9-8/6	2	埼玉県	蓮田市
4	埼玉医科大学病院	6/25-7/20	2	埼玉県	入間郡毛呂山町
5	医療法人社団尚篤会 赤心堂病院	6/25-7/20	2	埼玉県	川越市
6	社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院	7/2-7/28	2	埼玉県	狭山市
7	特定医療法人社団 堀ノ内病院	7/2-7/27	1	埼玉県	新座市
8	公益社団法人東松山医師会 東松山医師会病院	6/18-7/13	2	埼玉県	東松山市
9	医療法人 埼玉成恵会病院	7/2-7/27	2	埼玉県	東松山市
10	埼玉県立精神医療センター	7/2-7/27	2	埼玉県	深谷市
11	彩の国東大宮メディカルセンター	7/2-7/27	2	埼玉県	さいたま市見沼区
12	医療法人社団嬉泉会 春日部嬉泉病院	7/2-7/30	2	埼玉県	春日部市
13	医療法人葵 深谷中央病院	7/2-7/27	1	埼玉県	深谷市
14	医療法人真正会 霞ヶ関南病院	7/2-7/27	2	埼玉県	川越市
15	独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院	6/18-7/13	2	埼玉県	和光市
16	国家公務員共済組合連合会 九段坂病院	7/2-7/28	1	東京都	千代田区
17	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	7/9-8/4	2	東京都	中央区
18	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	7/3-7/27	2	東京都	港区
19	東京大学医科学研究所附属病院	6/18-7/13	2	東京都	港区
20	社会福祉法人賛育会 賛育会病院	7/2-7/27	3	東京都	墨田区
22	日本赤十字社医療センター	6/25-7/23	2	東京都	渋谷区
21	順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター	7/2-7/27	2	東京都	江東区
23	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	6/25-7/20	2	東京都	目黒区
24	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター	7/2-7/27	2	東京都	新宿区
25	医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院	7/2-7/27	2	東京都	板橋区
26	社会福祉法人 緑風会 緑風荘病院	7/2-7/27	2	東京都	東村山市
27	独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター	7/2-7/27	2	東京都	立川市
28	東海大学医学部付属八王子病院	7/2-7/27	2	東京都	八王子市
29	東京医科大学八王子医療センター	7/2-7/27	2	東京都	八王子市
30	医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院	7/2-7/28	2	東京都	昭島市
31	医療法人徳洲会 武蔵野徳洲会病院	7/2-7/21	1	東京都	西東京市
32	公立昭和病院	6/25-7/20	2	東京都	小平市
33	公益社団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院	7/2-7/27	1	東京都	練馬区
34	公益財団法人東京都保健医療公社 豊島病院	6/25-7/20	2	東京都	板橋区
35	千葉大学医学部附属病院	7/2-7/28	1	千葉県	中央区
36	東京慈恵会医科大学附属柏病院	7/2-27, 7/21	2	千葉県	柏市
37	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院	6/25-7/20	2	千葉県	柏市
38	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院	6/25-7/20	1	栃木県	宇都宮市

39	独立行政法人 国立病院機構 高崎総合医療センター	7/9-8/3	2	群馬県	高崎市
40	独立行政法人地域医療推進機構 群馬中央病院	7/2-7/28	1	群馬県	前橋市
41	医療法人三省会 堀江病院	7/2-7/27	1	群馬県	太田市
42	独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター	6/25-7/20	2	神奈川県	横浜市
43	新潟大学医歯学総合病院	7/2-7/27	2	新潟県	新潟市
44	寿泉堂総合病院	7/2-7/28	1	福島県	郡山市
45	都留市立病院	6/4-15, 7/2-6	1	山梨県	都留市
46	長和町・上田市組合立 依田窪病院	7/2-7/30	1	長野県	小県郡
47	日立総合病院	7/2-7/27	1	茨城県	日立市
48	米沢市立病院	7/2-7/27	1	山形県	米沢市
49	自治医科大学附属さいたま医療センター*	7/9-7/27	2	埼玉県	さいたま市大宮区
50	医療法人刀仁会 坂戸中央病院*	7/2-7/21	3	埼玉県	坂戸市
51	医療法人社団日高会 日高病院*	7/2-7/21	2	群馬県	高崎市
	合計		88		

* 臨地実習Aのみ実施

臨地実習B（給食経営管理・給食運営）実習施設（病院を除く）

	実習施設名称	実習日程	人数	都道府県	市町村
1	航空自衛隊 熊谷基地	6/11-6/15	4	埼玉県	熊谷市
2	陸上自衛隊 大宮駐屯地	6/18-6/22	7	埼玉県	さいたま市北区
3	わらしこ保育園	6/11-6/16	1	東京都	府中市
		6/18-6/23	1		
4	ポピンズナーサリースクール四ッ谷	6/11-6/15	1	東京都	新宿区
		6/18-6/22	1		
5	社会福祉法人晃和会 特別養護老人ホーム 清雅園	6/11-6/15	2	埼玉県	日高市
		6/18-6/22	1		
6	毛呂山町学校給食センター	3/12-3/16	1	埼玉県	毛呂山町
	合計		19		

臨地実習C（公衆栄養）実習施設（保健施設）

	実習施設名称	実習日程	人数	都道府県	市町村
1	東松山保健所	4/27, 6/5-8	2	埼玉県	東松山市
2	坂戸市立市民健康センター	6/11-15	2	埼玉県	坂戸市
3	川越市保健所	6/25-29	1	埼玉県	川越市
4	狭山市保健センター	6/11-15	2	埼玉県	狭山市
5	東松山市保健センター	6/21, 26-29	2	埼玉県	東松山市
	合計		9		

薬局実習施設

	実習施設（法人）名称	実習日程	人数	都道府県	市町村
1	クオール株式会社 各店舗	3/12-16	2	東京都	港区
		3/19-20, 22-24	2		
2	株式会社エフケイ 各店舗	3/12-16	2	埼玉県	富士見市
3	株式会社メディカルパティオ（あすなる薬局）	3/12-16	1	埼玉県	入間市
4	株式会社フォーラル（つばめ薬局）	3/11-15	1	東京都	文京区
5	ゆずの木薬局	3/12-16	1	埼玉県	入間郡毛呂山町
6	株式会社大慶堂（さんあい薬局）	3/12-16	1	埼玉県	深谷市
7	株式会社セキ薬品（つきのわ店）	3/14-18	3	埼玉県	比企郡
8	株式会社ファーコス（ファーコス薬局 イルカ）	6/11-15	1	千葉県	柏市
9	薬の坂重薬局	6/11-15	1	埼玉県	坂戸市日の出町
10	薬樹株式会社（健ナビ薬局都立大学）	6/11-16	1	東京都	港区
11	薬樹株式会社（薬樹薬局東平）	6/18-23	1	埼玉県	東松山市
12	株式会社日本アポック（鶴ヶ島池ノ台店）	6/11-15	1	埼玉県	鶴ヶ島市
13	株式会社トモズ 清瀬店	6/12-6/16	1	東京都	清瀬市
14	株式会社トモズ 上板橋南口店		1	東京都	板橋区
15	ウェルシア薬局株式会社 坂戸八幡店	6/11-15	2	埼玉県	坂戸市
16	望星築地薬局	6/11-15	1	東京都	中央区
17	あさひ調剤薬局 中央店	8/20-24	2	埼玉県	さいたま市北区
18	あさひ調剤薬局 町田店	8/20-24	1	神奈川県	町田市
19	株式会社パル・オネスト（パル薬局）	3/13-17	1	埼玉県	富士見市
		6/26-30	1		
20	薬局ミナミファーマシー	6/1, 6/4-7	1	東京都	杉並区
	合計		29		

4. シラバス

臨地実習 A（臨床栄養学実習）

目的：実践的な病院業務としての基礎知識および基本技能・態度の修得を目指し、医療施設における管理栄養士の実践的な業務を体験し、傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいた適正な栄養管理を行う能力を養う。

	実習項目	実習目標	実習の要点
I	事前教育（城西大学内）	臨床栄養学実習を行うための必要な基礎知識、態度	<ol style="list-style-type: none"> 1 病院の組織と業務内容 2 病院における管理栄養士の役割と業務 3 実習の目的や意義の認識と積極的な態度 4 実習に必要な身支度、用具、用品の準備 5 医療人・実習生としてふさわしい身なりや態度 6 指示事項や課題への積極的な取り組み、報告 7 患者のプライバシーの尊重と守秘義務 8 積極的なコミュニケーション
II	実習施設内オリエンテーション（組織と栄養部門）	各部門および栄養部門の役割、部門間の連携	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設の概要と特徴 2 栄養部門の組織と職種、業務 3 栄養業務に関する他部門との調整 4 他職種の業務の概要を認識し、連携や役割分担を積極的に行う態度 5 病院組織と栄養部門の位置づけ、役割 6 他部門の見学（看護部、薬剤部、臨床検査部、リハビリテーション部、医事課） 7 病棟見学
III	法的規制と業務	法的な枠組みに沿った栄養部門の業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 関連法規（医療法、保険診療制度、介護保険制度など）の枠組みと業務 2 入院時食事療養制度における食事管理と栄養指導業務の概要 3 栄養関係書類の種類と意義
IV	食事管理	食事の運営管理業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 入院患者の食事の管理システム 2 食種の区分と栄養基準 3 一般食の栄養基準量の算出方法 4 特別治療食の献立運用方法 5 食事箋の流れと記載事項 6 患者への配食方法、食札記入事項 7 治療食における少量多食種調理と配膳の運営管理方法 8 入院患者の食事の摂食量の把握方法 9 摂食量、QOLを上げる為の食事の工夫
V	食事設計	食事設計	<ol style="list-style-type: none"> 1 傷病者の栄養状態や合併症に対する食事設計 2 嚥下障害等への対応を目的とした形態調節食の区分や調整方法 3 医薬品と食事の相互作用に考慮した食事設計 4 特別用途食品を有効に活用した食事設計 5 特定保健用食品や健康補助食品を有効に活用した食事設計 6 患者の病状や栄養状態に配慮した食事設計 7 摂食量、QOLを上げる為の食事設計

	実習項目	実習目標	実習の要点
VI	栄養管理	栄養治療	<ol style="list-style-type: none"> 1 栄養管理システム 2 病棟における管理栄養士の業務 3 施設における栄養治療（経静脈栄養療法、経腸栄養療法） 4 強制経腸栄養療法の院内での管理方法 5 栄養アセスメント 6 患者の病態および栄養状態の評価・判定に基づいた栄養治療計画 7 嚥下障害者への対応 8 栄養管理における他職種との連携、役割分担
VII	栄養指導	栄養指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 栄養指導業務の種別 2 栄養指導に必要な患者情報、臨床検査値、服薬状況を確認する方法 3 栄養指導の依頼と報告の流れ 4 栄養指導指示箋の記載事項 5 栄養指導報告書の記載事項、記載方法（POS） 6 主治医の治療方針の理解 7 治療方針に沿った他職種の患者に対するアプローチ 8 患者の心理状態に配慮した栄養指導 9 入院患者に対する医療面接と栄養指導 10 外来患者に対する栄養指導 11 患者の病状や栄養状態、心理状態に配慮した栄養指導
VIII	リスク管理	衛生安全対策	<ol style="list-style-type: none"> 1 院内のリスクマネジメント 2 感染予防などの安全衛生対策 3 調理や配膳における衛生管理 4 調乳や経腸栄養調整時における衛生管理 5 食中毒発生時の対応 6 災害時の対策
IX	実習総括	専門的知識および技術の統合	大学と施設で学んだ専門知識を基に、傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいた栄養管理を行う能力の向上

臨地実習 B（給食の運営、給食経営管理実習を含む）

目的：実践的な給食管理に関わる基本的知識および基本的技能・態度の修得を目指し、特定給食施設における献立管理、栄養管理、衛生管理、集団給食調理の実際を体験する。

	実習項目	実習目標	実習要点
I	事前教育（城西大学内）	給食施設実習に必要な基礎知識、態度	<ol style="list-style-type: none"> 1 給食施設の業務内容 2 給食施設における管理栄養士の役割と業務内容 3 実習の目的や意義の認識と積極的な態度 4 実習に必要な身支度、用具、用品の準備 5 実習生としてふさわしい身なりや態度 6 指示項目や課題への積極的な取り組み、報告 7 積極的なコミュニケーション
II	実習施設内オリエンテーション	施設の業務内容、管理栄養士の役割と業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設の業務内容 2 施設における管理栄養士の役割と業務
III	組織の概要	組織と栄養部門、給食経営形態	<ol style="list-style-type: none"> 1 組織と栄養部門の位置づけ、役割 2 栄養部門と他部門との連携 3 栄養部門の組織と職種、業務分担 4 給食経営形態
IV	給食施設の概要	施設、設備管理	<ol style="list-style-type: none"> 1 効率的な運営をするための施設、設備管理 2 作業動線に適した作業区分の領域設定 3 衛生管理上の領域設定
V	作業管理	作業管理	<ol style="list-style-type: none"> 1 作業区分ごとの調理作業の流れ 2 一定期間におけるシフト管理 3 調理作業工程と作業領域 4 大量調理の特性と留意点 5 温冷食配膳の方法
VI	食材管理	食材管理	<ol style="list-style-type: none"> 1 食材料の購入計画 2 食材料の発注、納品・検収、保管方法
VII	栄養管理	施設の給食方法、栄養管理と献立の役割、評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 供食形態 2 給与栄養目標量の設定 3 給与栄養目標量に基づいた食品構成 4 給与栄養目標量に基づいた献立作成とその施設における献立の特徴 5 実施献立に対する評価方法 6 給食状況調査 7 調理作業員および喫食者に対する栄養教育の方法
VIII	経営管理	給食事務管理	<ol style="list-style-type: none"> 1 帳票類の種類と作成方法 2 コンピューター処理業務 3 コスト管理の概要
IX	衛生・安全管理	衛生・安全管理	HACCPに基づく衛生管理の具体的方法と測定、記録方法
X	実習総括	専門的知識および技術の統合	大学と施設で学んだ専門知識の実践の場での応用

臨地実習 C (公衆栄養学実習)

目的：保健施設で活躍する管理栄養士として持つべき基本的知識および基本的技能、態度の修得を目指し、公衆衛生・地域保健と連携して行う疾病予防・健康増進のための栄養教育の実際を体験する。

	実習項目	実習目標	実習の要点
I	事前教育（城西大学内）	保健施設実習に必要な基礎知識、態度	<ol style="list-style-type: none"> 1 保健施設の業務内容 2 保健施設内における管理栄養士の役割と業務 3 実習の目的や意義の認識と積極的な態度 4 実習に必要な身支度、用具、用品の準備 5 実習生としてふさわしい身なりや態度 6 指示事項や課題の積極的な取り組み、報告 7 積極的なコミュニケーション
II	実習施設内オリエンテーション	施設の業務内容、管理栄養士の役割と業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 保健施設内の各部門の業務内容 2 施設における管理栄養士の役割と業務 3 管理栄養士の所属部門と他部門との連携
III	地域保健栄養体制の整備	地域保健栄養体制と管理栄養士の役割	<ol style="list-style-type: none"> 1 「健康日本21」の地方計画 2 地域保健医療計画 3 栄養改善事業計画 4 関連部門との連携 5 外部機関および団体との連携
IV	栄養相談と栄養指導	ライフステージ別、健康栄養状態別栄養関連サービス	<ol style="list-style-type: none"> 1 栄養上のハイリスク集団の特定の仕方 2 栄養相談におけるコミュニケーション術 3 栄養関連サービスプログラム 4 栄養指導記録の記載
V	健康教育	各種教室・講習会	各種教室・講習会における健康教育の見学
VI	啓発事業	啓発事業の種類	健康フェア、健康祭、栄養展などの啓発事業
VII	人材の育成と活用	人材の育成と活用	<ol style="list-style-type: none"> 1 在宅栄養士の育成と活用 2 管内栄養士教育研修制度の内容、実施法
VIII	健康・栄養調査と情報分析	健康・栄養問題に関する情報の収集・分析	<ol style="list-style-type: none"> 1 保健統計調査 2 住民に対する各種調査法 3 情報分析の方法
IX	実習総括	専門知識及び技術の統合	大学と施設で学んだ専門知識の実践の場での統合

薬局実習

目的：実践的な薬局管理栄養士の業務における基礎知識および基本技能・態度の修得を目指し、薬局における管理栄養士の実践的な業務を体験し、健康・栄養状態および服薬その他健康食品の使用状況に基づいた適正な栄養指導を行う能力を養う。

	実習項目	実習目標	実習の要点
I	事前教育 (城西大学内)	薬局実習を行うための必要な基礎知識、態度	<ol style="list-style-type: none"> 1 薬局の組織と業務内容 2 薬局における管理栄養士の役割と業務 3 実習の目的や意義の認識と積極的な態度 4 実習に必要な身支度、用具、用品の準備 5 医療人・実習生としてふさわしい身なりや態度 6 指示事項や課題への積極的な取り組み、報告 7 患者のプライバシーの尊重と守秘義務 8 積極的なコミュニケーション 9 薬剤師倫理規定の理解
II	実習施設内 オリエンテーション	薬局の機能・役割と薬剤師の業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設の概要と特徴 2 薬局の機能と役割 3 薬剤師の職務 4 保険調剤の流れ（処方せん受付から投薬まで） 5 調剤室見学
		薬局管理栄養士の役割、薬剤師との連携	<ol style="list-style-type: none"> 6 薬局管理栄養士に求められる役割 7 薬局における業務の概要の認識と連携および役割分担（チーム医療）
III	法的規制と業務	法的な枠組みに沿った栄養部門の業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 関連法規（医療法、保険診療制度、介護保険制度など）の枠組みと業務 2 調剤報酬算定のしくみ
IV	栄養指導	栄養指導業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 来局者のライフステージや栄養状態あるいは病状に対応した栄養指導 2 医薬品と食事の相互作用を考慮した栄養指導 3 特別用途食品を有効に活用した栄養指導 4 特定保健用食品や健康補助食品を有効に活用した栄養指導
V	来局者情報管理	来局者の情報管理	<ol style="list-style-type: none"> 1 来局者の情報源の種類と特徴 2 来局者の疾患領域の把握 3 栄養指導に必要な患者情報 4 処方薬からの疾患名の推察 5 薬物の効果および副作用のモニタリング（情報収集、評価） 6 薬歴管理の方法 7 栄養指導歴の記載事項および方法（POS） 8 服薬指導の概要 9 来局者情報の共有
VI	薬局における商品販売業務	販売業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 薬局で取り扱う商品（特別用途食品、特定保健用食品、健康補助食品、いわゆる健康食品、医薬部外品など）の特徴と使用上の注意点 2 販売の実際
		商品管理業務	<ol style="list-style-type: none"> 3 商品管理の実際
VII	実習総括	専門的知識および技術の統合	大学と施設で学んだ専門知識を基に、健康状態や栄養状態の特徴に基づいた栄養管理を行う能力の向上

5. 導入教育

臨地・薬局実習事前・事後教育

平成 29 年 6 月 22 日（木）1 コマ，小林 順，堀 由美子，加藤 勇太（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・臨地実習全般について（導入教育・選択実習の手続きなど）
- ・臨地・薬局実習関連スケジュール
- ・抗体検査の実施（平成 29 年 6 月 22 日）について

平成 29 年 7 月 20 日（木）1 コマ，小林 順，堀 由美子（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・臨地・薬局実習スケジュール
- ・臨地・薬局実習施設自己開拓について
- ・自己開拓希望調査

平成 29 年 8 月 7 日（月）1 コマ，堀 由美子（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・実習施設自己開拓希望者に対する手続きの進め方

平成 29 年 10 月 7 日（土）2 コマ，小林 順，堀 由美子，清水 純，山王丸 靖子，加藤 勇太，医療栄養学科教員（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・平成 29 年 臨地・薬局実習報告会（事前教育）

平成 29 年 11 月 6 日（月）1 コマ，堀 由美子（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・履修希望調査
- ・緊急連絡先等調査
- ・抗体検査結果返却と今後のワクチン接種等の対応について
- ・今後の事前教育及び臨地・薬局実習に関するスケジュールと諸注意

平成 30 年 1 月 10 日（水）2 コマ，加藤 勇太，堀 由美子（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・臨地・薬局実習について
- ・管理栄養士の仕事と臨地実習（事前教育）

平成 30 年 1 月 17 日（水）1 コマ，霜田 佳那恵 先生（リクルートキャリア）

- ・社会人としてのマナー（臨地実習・薬局実習に向けて）

平成 30 年 1 月 17 日（水）1 コマ，山王丸 靖子，小林 順，堀 由美子（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・ OSCE（客観的臨床能力試験）様試験の実施について

平成 30 年 2 月 14 日（水）1 日，OSCE WG・医療栄養学科全教員（城西大学薬学部）

- ・ OSCE（客観的臨床能力試験）試験
医療人として兼ね備えるべき態度を確認することを目的として実施

平成 30 年 2 月 17 日（土）1 コマ，堀 由美子（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・ OSCE 試験（2 月 14 日）筆記試験問題の解説（フィードバック）

平成 30 年 2 月 17 日（土）1 コマ，津田 整（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・ 薬局実習事前教育
 1. 保険薬局・ドラッグストアにおける実習について
 2. 機能性食品について
 3. 諸注意

平成 30 年 2 月 20 日（火）1 コマ，OSCE WG・医療栄養学科教員（城西大学薬学部）

- ・ OSCE（客観的臨床能力試験）試験 再試験

平成 30 年 4 月 9 日（月）1 コマ，堀 由美子，関口 祐介（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・ 臨地・薬局実習オリエンテーション
- ・ 臨地実習に関わる各種事務手続きについて

平成 30 年 4 月 9 日（月）1 コマ，学生課（城西大学学生課），堀 由美子，関口 祐介（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・ 臨地実習の通学定期について

平成 30 年 4 月 16 日（月）1 コマ，水野 文夫（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・ 臨床栄養（専門用語等）事前教育

平成 30 年 4 月 16 日（月）1 コマ，堀 由美子，関口 祐介（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・ 臨地実習に関わる諸注意，各種事務手続きについて

平成 30 年 4 月 23 日（月）2 コマ，加藤 勇太（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・臨床栄養（糖尿病食品交換表）事前教育
- ・臨床栄養（栄養療法）事前教育

平成 30 年 5 月 7 日（月）1 コマ，堀 由美子，加藤 勇太，関口 祐介（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・臨地実習に関わるインシデント・アクシデント

平成 30 年 5 月 7 日（月）1 コマ，山王丸 靖子（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・給食経営管理事前教育

平成 30 年 5 月 7 日（月）1 コマ，堀 由美子，関口 祐介（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・細菌検査，貸与品について

平成 30 年 5 月 14 日（月）1 コマ，水野 文夫（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・臨床栄養（診療報酬）事前教育

平成 30 年 5 月 14 日（月）1 コマ，堀 由美子（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・臨地実習 C（公衆栄養学）事前教育

平成 30 年 5 月 21 日（月）2 コマ，秋山 好美 先生（社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院 栄養部 課長）

- ・臨床栄養事前教育（病院実習の実際）

平成 30 年 5 月 28 日（月）2 コマ，小林 順，堀 由美子，関口 祐介（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・臨地・薬局実習直前の事前教育（再確認）
- ・実習書の書き方，実習目標設定

平成 30 年 6 月 1 日（金）1 コマ，小林 順，真野 博，日比野 康英，堀 由美子，清水 純，古屋 牧子，大学院生（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・臨地実習経験者による実習報告

平成 30 年 7 月 31 日（火）2 コマ，小林 順，堀 由美子，山王丸 靖子，加藤 勇太，関口 祐介（城西大学薬学部医療栄養学科）

- ・臨地実習終了に伴う事後教育

平成 30 年 10 月 6 日（土）2 コマ，小林 順，真野 博，堀 由美子，清水 純，
山王丸 靖子，加藤 勇太，医療栄養学科全教員（城西大学薬学部医療栄養学科）
・臨地実習報告会

6. 臨地・薬局実習カリキュラム例

臨地実習 A・B (病院) 実習カリキュラム例

(1) ○○病院

第1週	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション 病院概要説明	朝礼, 選択メニュー入力見学 発注・検品	調乳 A 個別対応・嚥下 B	個別対応・嚥下 A 副菜調理・盛付・配膳 B	副菜調理・盛付・配膳 A 調乳・厨房洗浄 B
午後	院内約束箋説明 食事提供の流れ 仕込み	食事提供の流れ 献立作成業務	食札業務	個別対応献立業務 仕込み	食事の運営(まとめ) DM 病態講義聴講 [教育入院]
第2週	月	火	水	木	金
午前	DM 集団栄養指導見学[教育入院] 運動療法参加[教育入院]	透析について 透析室見学	DM 個人栄養指導見学 [教育入院]	小児保健栄養指導	糖尿病教育入院修了式見学 個人栄養指導見学
午後	ICU カンファレンス 透析カンファレンス	栄養管理計画書作成 DM 服薬講義 [教育入院]	カンファレンス (透析, 個室病棟, DM) 個人栄養指導見学	血液内科カンファレンス 栄養管理計画書作成	外科カンファレンス 個人栄養指導見学
第3週	月	火	水	木	金
午前	個人栄養指導見学 透析室見学	小児保健栄養指導見学	個人栄養指導見学	栄養管理計画書作成	個人栄養指導見学
午後	緩和ケア病棟カンファレンス 褥瘡回診 小児科回診	外科カンファレンス 栄養管理計画書作成	消化器内科カンファレンス 個人栄養指導見学 A 人間ドック栄養指導見学 B	NST ラウンド準備, 回診 呼吸器内科カンファレンス	内分泌内科カンファレンス 栄養管理計画書作成
第4週	月	火	水	木	金
午前	祝日	栄養管理計画書作成	個人栄養指導見学	救急科回診, 救急科施設見学 栄養管理計画書作成	小児科カンファレンス 個人栄養指導見学
午後	祝日	栄養管理計画書作成	整形外科カンファレンス 個人栄養指導見学 B 人間ドック栄養指導見学 A	NST ラウンド準備, 回診	脳外科カンファレンス まとめ, 反省会

* A:実習生 A, B:実習生 B

(2) ○○病院

第1週	月	火	水	木	金
午前	調理(一般食)	調理(術後食)	調理(特別食)	調理(下処理)	調理(特別食)
午後	ミーティング 摂食量調査の説明 一般食の説明 自習	説明 ・摂食量調査 ・栄養管理室 ・電子カルテ ・選択食 ・行事食	喫食量調査 特別食の説明 自習	喫食量調査 電子カルテ 食数管理の説明 発注の説明 検収の説明	喫食量調査 栄養指導の見学 (大腸術後) 自習
第2週	月	火	水	木	金
午前	調理(一般食)	調理(特別食)	調理(下処理)	調理(術後食)	調理(一般食)
午後	喫食量調査 栄養指導見学 (胃術後) 丑の日カード の作成	喫食量調査 電子カルテ 自習	喫食量調査 ミーティング 自習	丑の日カードの 作成 電子カルテ ラミネート加工 自習	食品衛生の説明 自習
第3週	月	火	水	木	金
午前	祝日	研究課題のテーマ決定 研究方法の設定 資料集め	資料整理 電子カルテ 研究課題まとめ	研究課題まとめ 電子カルテ 献立評価	研究課題まとめ
午後	祝日	研究課題まとめ 資料のピックアップ	病棟見学 研究課題まとめ ミーティング	研究課題まとめ 電子カルテ 献立作成の手順 管理栄養士業務	研究課題まとめ
第4週	月	火	水	木	金
午前	電子カルテ 研究課題まとめ	研究課題まとめ	研究課題まとめ	研究課題まとめ	課題提出 患者様(移植食)のデータ入力 電子カルテ ミーティング
午後	研究課題まとめ 病棟見学	研究課題まとめ 病棟見学	研究課題まとめ ミーティング	研究課題まとめ	電子カルテ 課題修正・評価 栄養指導見学 (EMR) 最終評価

(3) ○○病院

第1週	月	火	水	木	金	土
	給食経営管理実習					
午前	病院機構と栄養科の役割 給食管理の流れ、オーダリングシステム・給食管理システム	検収業務 仕込み	クックチル調理 冷菜調理	プリセット 仕込み	ライン業務 パントリー業務	
午後	関連法規と栄養管理業務 厨房施設見学 まとめ	温度管理システム 献立管理業務	クックサーブ調理	経管 ライン業務	食器洗浄	
第2週	多職種との関わりを知る					
午前	事務管理実習、治療食献立作成	病棟研修	リハビリテーション科 研修、治療食 献立作成	臨床工学科 研修、総合相談 室 (MSW)	食事アンケート 集計	特別食献立 作成、肝臓病 教室見学、検 食
午後	PFM 業務見 学 病棟ラウンド 総合内科カンファ レンス	病棟研修	研修レポート 作成 薬剤部研修	医事課研修 臨床検査技術 科研修 科内勉強会	緩和ケアにつ いて 緩和ケアカンファレンス	納涼祭参加
第3週	臨床栄養管理実習					
午前	(祝日) 自宅研修	指導媒体につ いて 患者情報収集 病棟訪問	患者インタビ ュー 糖尿病学習会	指導媒体・資 料作成 糖尿病勉強会	アドバイス練習 糖尿病教育入 院指導見学 医学部臨床クラ ーピング見学	
午後	自宅研修	患者インタビ ュー準備 糖尿病勉強会 腎代謝内科カン ファレンス	指導媒体・資 料作成 糖尿病勉強会	指導媒体・資 料作成 糖尿病勉強会 科内勉強会	献立評価 糖尿病勉強会 献立修正	
第4週	臨床栄養管理実習					
午前	セントラル業 務見学	栄養指導見学	栄養指導見学	栄養指導シミュ レーション 栄養指導計画 修正	栄養指導準備 最終シミュレーション	実習報告ま とめ
午後	患者情報収集 病棟訪問 栄養指導計画 立案	栄養指導準備 NSTについて	NST 回診	褥瘡回診につ いて、褥瘡回 診、栄養指導 計画内容確認	栄養指導実施 実習報告ま とめ	実習報告プ レゼンテー ション

(4) ○○病院

第1週	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	オリエンテーション 厨房案内 一般食 コンベア配膳	特別食 エネルギーコントロール食 コンベア配膳	栄養指導(外来) 透析食 腎疾患 課題説明	一般食 コンベア配膳	洗浄
午後	一般食 コンベア配膳	特別食 エネルギーコントロール食 コンベア配膳	資料閲覧 経管栄養剤 治療補助食品 NST 見学	一般食 コンベア配膳	洗浄 病棟配膳
第2週	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	調乳 コンベア配膳 病棟訪問	特別食 タンパク質コントロール食 下処理室	特別食 タンパク質コントロール食 下処理室	献立作成(一般食), 食品管理 検収, DM 食堂 指導(入院)	特別食 小児食 離乳食 下処理室
午後	調乳 下処理室	栄養指導(外来) 糖尿病	特別食 小児食 離乳食	献立作成(一般食), 食品管理 検収, カンファ レンス見学	特別食 小児食 離乳食 コンベア配膳
第3週	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	献立作成 (一般食) 食品管理 検 収	媒体作成 (減塩食パンフ レット)	調乳 下処理室	献立作成(一般食) 食品管理 検 収	献立作成 (一 般食) 栄養指導(入院) 減塩食 病棟訪問
午後	栄養指導(外来) 腎疾患 脂質異常症 献立作成 (一般食)	献立作成 (一般食)	調乳 コンベア配膳	献立作成 (一般食) 食品管理 検 収 NST 見学	献立作成(一般食)
第4週	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	祝日	献立作成(一般食)オーダーリングシステム	コンピュータ 献立, 食品管理 検収, 媒体作成 (減塩食パンフ レット) 検食(透析食)	媒体作成 (減塩食パンフ レット) 食品管理 検 収 オーダーリング システム 検食(減塩食 6)	媒体作成 (減塩食パンフ レット) 食品管理 検 収 検 食(一般食 B)
午後		献立作成 (エネルギーコントロール), NST 見学 媒体作成 (減塩食パンフ レット)	媒体作成 (減塩食パンフ レット) 院内見学	媒体作成 (減塩食パンフ レット) カンファレン ス見学 NST 見学	まとめ 感想文

臨地実習 B（給食経営管理・給食運営）カリキュラム例

(1) ○○自衛隊

	午前	午後
第 1 日（月）	朝礼（自己紹介） 全般説明 配食	食品衛生・在庫管理・発注業務についての説明
第 2 日（火）	朝礼 検収業務の見学 裁断・調理・配食	洗米・炊飯・大量調理の見学 献立についての説明 資料館の見学
第 3 日（水）	朝礼 献立のミーティングの見学 体育学校の見学 裁断・配食	栄養業務についての講義 調理
第 4 日（木）	朝礼 献立作成 調理・配食	献立作成 見本審査の準備・見学 調理
第 5 日（金）	朝礼 特定健診（集団）についての講義 長挨拶 裁断・配食	広報センターの見学 特定健診（個人）についての講義

(2) ○○自衛隊

	午前	午後
第 1 日（月）	自衛隊の役割 施設の案内	自衛隊の給食業務の在り方について
第 2 日（火）	厨房業務 （検収・下処理・調理・配食）	厨房業務 課題（卓上メモ・主菜献立）の作成
第 3 日（水）	厨房業務 （検収・下処理・調理・配食）	衛生教育 （食中毒対策について）
第 4 日（木）	厨房業務 （検収・下処理・調理・配食）	携帯食倉庫の見学と説明
第 5 日（金）	厨房業務 （検収・下処理・調理・配食）	課題の発表 携帯食の試食，総括

臨地実習 C (公衆栄養学) 実習カリキュラム例

(1) ○○保健所

日時	午前	午後
第 1 日 (月)	保健予防推進担当業務説明 保育園訪問インタビュー (Assessment) ・園児と給食	保健予防推進担当業務説明 食育事業計画作成 (Plan)
第 2 日 (火)	食育授業計画作成 教材作成	生活衛生・薬事担当業務説明 食を通じた健康危機管理
第 3 日 (水)	食育教材作り	地域農業の状況について 農林振興センターの取り組み
第 4 日 (木)	保育園食育事業リハーサル	食育事業最終修正
第 5 日 (金)	保育園食育事業実施 (Do) (○○保育園)	保健センターでの 3 歳児検診見学 記録整理・まとめ・反省会 (Check)

(2) ○○保健センター

実習日	午前	午後
第 1 日 (月)	オリエンテーション 保育園栄養士講話	乳児健診
第 2 日 (火)	栄養教材作成	2 歳児歯科健診
第 3 日 (水)	乳幼児健康相談	子育て支援センター 離乳食講習会
第 4 日 (木)	栄養教材作成	若者健診
第 5 日 (金)	○○地区 健康を守る会 熱中症予防の食事講話	1 歳 6 ヶ月歳児健診 まとめ

薬局実習カリキュラム例

(1) ○○薬局

	午前	午後
第1日(月)	朝礼(挨拶) オリエンテーション 地域医療における保険薬局の役割(講義) 保険調剤業務全体の流れ(講義・見学)	薬局の栄養士活動(講義) ラウンド (納品チェック・値札付け・品出し)
第2日(火)	朝礼 旬の献立作成 ラウンド(点検・商品補充・パッキング・ 納品チェック・値札付け・品出し・検収) 薬局アイテムの流れ(講義)	旬の献立作成 ラウンド (納品チェック・値札付け・品出し・検収) ケーススタディ①(症例)
第3日(水)	朝礼 栄養相談見学 保険制度と診療報酬算定(講義・演習) 処方箋受付(講義) ラウンド (パッキング・値札付け・品出し・検収)	処方箋受付 旬の献立作成(続き) ケーススタディ②
第4日(木)	朝礼 ラウンド (納品チェック・値札付け・品出し・発注) 栄養計算 栄養相談見学	栄養計算(続き) 機能性食品の試食 ケーススタディ③
第5日(金)	朝礼(挨拶) 栄養計算(続き) ラウンド(発注) ケーススタディ④	栄養相談シミュレーション ラウンド (栄養評価・納品チェック・値札付け・品出し) まとめ

(2) ○○薬局

	午前	午後
第1日(月)	自己紹介 売り場の清掃 仕事内容の説明 近隣の透析病院見学	血圧計や体組成計の計り方について 薬のピッキング作業
第2日(火)	レジ打ちと患者様対応 患者様への栄養相談	患者様の栄養相談報告書(SOAP形式)の作成 保険薬局についての講義 検品作業
第3日(水)	ピッキング作業 健康食品のPOP作り 薬局の安全性についての講義	社会保険と国民保険についての講義 ピッキング作業 検品作業
第4日(木)	検品した薬を収納 在宅療養についての講義 患者様の家へ訪問	薬と食品の相互作用についての表作成 薬局にある機械などの説明 患者様対応
第5日(金)	イベントで用いる機械の使い方の練習 サンプル商品の用意	患者様の体組成や肌の水分量・血圧の測定 栄養相談

(3) ○○ドラッグストア

	午前・午後	全日程
第1日(月)	薬局実習を行うための基礎知識の習得 商品の賞味期限チェック	接客対応 (商品の位置, 在庫確認, おすすめ商品の紹介など)
第2日(火)	納品業務(日用品コーナー中心) 医薬品・医薬部外品である商品の理解	
第3日(水)	納品業務(ビューティーケアコーナー中心) プルーンの接客販売 健康食品・特定保健用食品・栄養補助食品などの商品の理解	
第4日(木)	納品業務(お菓子中心), ビタミン剤の商品の理解	
第5日(金)	品業務(医薬品中心) 総括	

7. 学生の感想・反省

病院で実習を終えた学生の声

< 臨地実習 A (臨床栄養)・B (給食経営管理・給食運営) >

病院における実習終了後の感想文の中から、代表的なコメントを抜粋してまとめました。

1. 実習全体について

- ・ 臨地実習を通じて、病院の管理栄養士として働きたいという思いがより強くなりました。
- ・ 実習を行っていて、勉強不足であると感じたところがたくさんありました。これからは教えていただいたことが無駄にならないように、勉強を今より頑張らなければいけないと思いました。文章で理解するのは難しいため、なぜこのようなことが起きるのかなど、論理的に考えて理解したほうが良いと教えていただいたので、それらを踏まえて勉強にいかしていきたいです。
- ・ 病院内で食に関わる全ての業務は栄養部門が行い、管理栄養士の先生方が責任持って、運営されていることが実感できました。
- ・ 挨拶、言葉遣い、時間を守る、期限を守る、等は社会人としての基本であり、信頼関係に関わってくるという事を実感致しました。
- ・ 実習の最終日に管理栄養士の先生方と将来のことや管理栄養士のやりがいについてお話しする機会がありました。一度やりたいと思ったことは実際に体験してから考えたり、自分がどんなことをしていきたいのか今が悩める時期なのでしっかり考えることが大切だと教えていただきました。またタイミングもあるので行きたい場所があるなら常に情報にアンテナを張っておくことも重要であると教わりました。
- ・ 管理栄養士の関わりや食事によって、患者さんの病状が良くなることを感じました。管理栄養士という職業は、とてもやりがいを感じられる仕事だと思いました。
- ・ 管理栄養士の先生方それぞれが信念を持って患者様と向き合い、どうしたら患者様のためになるのか、何が一番良い方法なのかを考えていて、私も将来どのような管理栄養士になりたいのかを改めて考える良い機会になりました。
- ・ 普段の大学の授業では学ぶことが出来ないことをたくさん学習でき、とても勉強にな

りました。これからの学生生活を送るうえで、何を中心に勉強すればよいのか、目標設定する上での指標になる実習となったと思います。

- ・一カ月の実習を通して自分に足りない知識や経験の違いを感じ、これからの勉強に生かし、たくさんの経験を積んでいくことが大切であることを学びました。改めて、将来は管理栄養士として患者様が食事を楽しめるような、病院での食環境作りに貢献したいと感じました。
- ・実習先の先生方が「栄養で人を助ける」という共通の目標を持ち働く姿がとても素晴らしく、私もそのような管理栄養士になりたいと思いました。
- ・実習先の病院はとても規模が大きく、管理栄養士が複数名いることで連携する場面が多いと感じました。分からないことや困った時に、お互いに助け合うことが大切で、管理栄養士もチームなのだと分かりました。

2. 施設・指導者

- ・管理栄養士の先生や調理師、医師、看護師など病院内で働かれている先生方が私たち実習生にとっても優しく、時に厳しく接して下さり、1ヶ月間楽しく実習を行うことが出来ました。
- ・管理栄養士の先生だけではなく、医師や歯科医師などほかの医療従事者の先生方も疑問に思ったことはやさしく教えてくださり、とても勉強になりました。
- ・大病院で多くの医療従事者がいる中、管理栄養士の先生方がわずか5人であることを考えると、とても責任の重い仕事だと思いました。しかし、専門職としての使命感を持って業務にあたられていた管理栄養士の先生方の姿勢が、とても印象的でした。
- ・私がお世話になった施設では、同じサイクルで同じ実習内容をするのではなく、毎週違う内容で様々な経験や見学をさせて頂いたのでとても勉強になりました。
- ・先生方は私たちの質問に対して、その場で分からないことや未解決の事象があった場合は後で調べて教えてくださったりと、実習生の私たちにも真剣に向き合ってください、とても深い見識を得ることができたと思います。その姿勢に感銘を受けました。将来私が施設指導者になった際にも、後輩にそのような指導が出来るよう励んでいきたいと思っています。
- ・多忙な中、未熟な私たちに熱心にご指導くださった先生方にとっても感謝しています。

- ・施設の特性上、社会的に弱い立場の患者様や、社会制度に頼らなければ生活を成り立たせることが困難な患者様などを目の当たりにしました。しかし、この実習先でなければ目を向けることができなかつた問題であったため、とてもよい勉強になりました。
- ・実習施設併設の自立訓練施設や福祉センターのデイケアプログラムへの参加などを通して、患者様と実際にお話し、精神疾患や障がいに対する理解を深めることができました。
- ・指導者の先生はとても優しく、質問したことには全て丁寧に答えていただいた上、実習書にも毎日コメントをくださったので、とても前向きに取り組むことができました。
- ・平均在院日数の長い慢性期の病院だったということもあり、食事の好き嫌い等に対する個別対応をかなり行っており、施設によって考え方や方法を変化させる必要性について理解できました。

3. コミュニケーション

- ・コミュニケーション能力や積極性が必要だと感じました。
- ・プレゼンテーションでは、人に何かを伝えることは自分にしっかりと知識がないと上手く伝えることができず、また患者さんに伝えるということはその患者さんについてもよく理解してなければならなく、難しかったです。自信をもって話せるくらい勉強や練習をしたいと思います。
- ・管理栄養士の先生と看護師の先生がコミュニケーションをとり、患者さんがどういう人なのか、その時の状態、体調、食事で気になる点など聞き、情報共有することの大切さを実感しました。
- ・がんサロンを見学させていただきました。そこでは、管理栄養士の先生は、積極的に指導をするのではなく、患者さんの話に傾聴していました。患者様を正しく理解し、正しくアプローチする必要があると思いました。
- ・調理師と管理栄養士の間におけるコミュニケーションが非常に重要だということがわかりました。両者のコミュニケーションが取れていないと、調理師からの要望がなかなか通らず、その不満が仕事に影響することもあると思いました。管理栄養士は部門のリーダーとして、リーダーシップやマネジメントが大切だと思いました。

- ・「明るさ」ということの本質を理解し、その重要性について痛感しました。「明るさ」をもっていることでそれ自体がコミュニケーションになり、円滑な人間関係を築けること、さらにそこから多職種連携にもつながっていき、結果的に良い方向に向かっていくということがわかりました。
- ・コミュニケーションにおいては、信頼関係をしっかりと構築することが大切であると感じました。
- ・ソフト食の試作を行う機会に参加させていただきました。管理栄養士と調理員が一緒になって調理を行う場面がありました。何を使いどのように調理し、調理員に対してどのくらいの負担になるのかなど全員で情報共有・ディスカッションを行うことができ、そのことによって安全で美味しい食事が提供できるのだと分かりました。
- ・フードサービスを委託している施設でしたが、給食受託会社との連携を潤滑にすることが、よりよい食事提供につながると感じました。
- ・栄養部内では、毎週月曜日に行われる会議のほかにも必要な連絡が逐一行われており、また全員が会議資料に目を通すことを朝礼で呼びかけたりと、報告・連絡・相談がきちんとされていて勉強になりました。
- ・急な食事箋の変更に対応した場面がありましたが、これは、調理スタッフとの円滑な協力関係があるからこそできたことでした。調理スタッフと管理栄養士の信頼関係の構築の重要性を学びました。
- ・誤配膳が起らないように何人もの目でチェックを重ね、禁止食品やアレルギーの場合はスタッフ同士で声を掛け合いながら確認していくことでミスを防いでおり、マネジメントやコミュニケーションの大切さがよく理解できました。

4. NST、チーム医療、他部門・他職種との関わり

- ・約2週間、患者さんの経過を追わせていただき、患者さんの状態に基づいたアセスメント法や栄養剤の選定の仕方など学ぶことができました。
- ・病院実習を通じて、管理栄養士が積極的に病棟に出ていかなければならないことを学びました。
- ・カルテや看護師からの情報だけでなく、実際に病棟に行き、患者さんの様子を伺って情報を得ることも重要であると感じました。

- ・管理栄養士の先生は回診の際、「この経腸栄養剤はどうしたらいいですか？」など医師や看護師の方から質問されている事が多く、他の先生方から頼られる存在だと思いました。
- ・食事や栄養の知識だけではなく、病態の内容や治療、薬、輸液の事などの知識も必要だと思いました。
- ・栄養管理室内だけでなく医師や看護師、薬剤師、言語聴覚士の先生方とも仲良く話をされている場面がありました。チーム医療において、他職種とのコミュニケーションを円滑にするために、信頼関係の構築が重要だと分かりました。
- ・NSTのメンバーの中では、唯一の「栄養」の専門職であり、医師や歯科医師、看護師などいる中でも積極的に提案してチームをまとめていたので、管理栄養士という職業にとっても魅力を感じました。
- ・NST回診だけでなく摂食・嚥下回診やPEG回診、外科回診も見学させていただいたため、学ぶことが多かったです。回診の際に患者様が「皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。」とおっしゃってくださり、とてもやりがいのあるお仕事だと改めて思いました。
- ・医師は専門分野（循環器内科、心臓血管外科、小児科など）がありますが、管理栄養士はすべての分野に関わるため、それぞれの分野を幅広く理解していなくてはならないと感じました。
- ・がん患者向けの料理教室では、がん患者さん、その家族、サポートしているヘルパーさんと様々な人が参加していてコミュニティとなっていました。栄養士は料理というツールを生かしコミュニティを作ることで、患者さんに寄り添っていると感じました。
- ・アセスメントやプランニングを行う際に、短期間の狭い視点でプランニングを行うとその場しのぎの計画にしかならないことを学びました。患者さんが退院した後の生活のことも見据えてアセスメント及びプランニングを行うことが、患者さんの人生をよりよくできことに繋がるのではないかと感じました。
- ・病棟での申し送りやケアカンファレンスは他職種で集まり、全体で情報を共有することで患者様の状況等を把握できるだけではなく、専門分野以外の視点からも様々な意見も取り入れ、患者様へより良い医療・食事等を提供できること、また他職種との信頼関係の向上にも繋がると感じました。

5. 給食経営管理

- ・ 調理の技術だけでなく、使用する食器の選択や調理を行う場所や工程の確認等、作業効率を考えて献立作成を行う必要があると学びました。
- ・ 調理室内はとても暑く、体調を崩さないよう、体調管理・健康管理に気をつけなければならぬと感じました。また、リーダーである管理栄養士は、厨房内スタッフの体調管理・健康管理にも気を配る必要があるのだと学びました。
- ・ 配膳作業では厨房内で数の確認を行い、病棟の前で名前と部屋番号の確認をしてから配膳を行っており、間違いがないように何人もの人で確認をすることが重要であると感じました。また、配膳をする時は一人ひとり名前を呼んで顔を見ながら食事を渡すことで、患者さんの様子も確認することができると感じました。
- ・ 直接患者さんのところへ行き配膳を行っている、「おいしそう」「お腹がペコペコで待っていたよ」「今日はスイカがある」などの声を聞くことが出来ました。食事を楽しんでいる患者さんが多いことが分かりました。
- ・ 食札は、食事に間違いが起こらないよう、食札を一目見て確認できるように文字に色を付けてあり、実践現場での工夫を学ぶことが出来ました。
- ・ 栄養科ではチェック業務をする事が多く、特にアレルギーなどの命に関わる事もあるので、ミスの許されない責任重大な業務だと感じました。
- ・ 大学で学んだ大量調理マニュアルや HACCP がしっかり守られており、勉強をしっかりとしたのち、実習に望めてよかったと感じました。もっと勉強したいと前向きな気持ちになりました。
- ・ 管理栄養士の業務をしっかり理解している調理師・調理員の方が多く、患者さんのことを考えて厨房業務をしているなど感じました。ご指導していただく中で何度も「患者さんのために」という言葉を聞き、そういった想いが統一されていることが素晴らしいと思いました。
- ・ 新施設に移転し、ニュークックチルを導入するという実習施設でした。その概要を教えていただきましたが、食感や色合いの変化による問題、どのタイミングで人数はどのくらい必要なのか、予算との兼ね合いなど、何事も理想と現実を一致させることは想像以上に難しいことを学びました。

- ・ 食材の在庫管理は非常に重要で、調味料などにおいては使用量が週によって変わるため、それを考慮して発注量を調整したり、使用頻度やポーションサイズまで予測を行う必要があることを学びました。
- ・ 献立作成の際、食品構成表や栄養出納表の活用は展開においても重要であることが分かりました。また同時に、これらについて知識が不足していることを反省しました。
- ・ 災害発生時に備えて炊き出し訓練を重点的に実施していたり、非常食の期限が迫ると献立に取り入れるなど、非常食が無駄にならないように工夫されていた点も勉強になりました。

6. 栄養教育

- ・ 栄養指導を見学させていただきました。患者さんの心や気持ちに寄り添うこと、その方にあった提案や指導を行うことが大切であると学びました。
- ・ 先生方の栄養指導の方法は様々であり、指導方法は一つではないことを実感しました。
- ・ 患者さんが再度栄養指導に来てくださらなければ介入することが出来ないのも、また管理栄養士とお話したいと思ってもらえるような栄養相談を行うことの大切さを学びました。
- ・ 母親教室を見学する機会がありました。管理栄養士の先生が一方的に話すのではなく、グループワークを行うなど、一緒に考えたりする場面が多く、そのような手段も有効であることを学びました。
- ・ 糖尿病教室では、個人の栄養指導とは異なり一般的なことしか伝えることができず、メリットやデメリットがあることが分かりました。また個人では、集団よりそれぞれの患者さんに合った栄養指導ができますが、必ず医師の指示がないと行えないので、まず診察を受けてもらうことが大切と学びました。
- ・ 患者さんに個人指導、集団指導などで接した際、患者さんがわかる言葉選び、表情、話し口調、ジェスチャーなどを学ぶことができ、とても勉強になりました。
- ・ 栄養指導が多い日は1日30件以上あり、一人一人の栄養指導の間隔が短いため、患者さんの情報を整理しておくことが大切だと感じました。
- ・ 栄養指導では、食事パターンをお伺いして、食生活の背景を考えながら、やり方や工夫の仕方を提案することの大切さを学びました。そのためには病態に関する深い理解や食品の機能や成分に関する知識、新たな情報に対する収集が常に必要だと思いました。

た。

- ・ 栄養指導を見学させていただき、管理栄養士の先生が本や資料を使用して指導を行っていました。より具体的な指導が行えるため、患者さんの行動変容が起きやすくなると感じました。また、言葉だけで指導をするよりも説得力があり、本や資料などを活用することの意義を学びました。
- ・ 栄養指導やベッドサイド訪問時に患者さんやそのご家族から、「〇〇は食べてはいけないんですね。」というコメントを多く聞きました。このことから、患者さんの価値観や実現可能性を考慮したうえで、食事療法の困難さをうまく解消してあげられるような管理栄養士になりたいと感じました。
- ・ 栄養指導媒体の作成を行いました。この際、患者様に対して適切な情報や患者様は何を知りたいのかを考えて指導媒体を作成していました。しかし、それだけではなく、患者様の目線に立ってどのような内容であれば普段の食生活に生かすことができるのかを考えながら作成することも必要で、栄養指導を受ける対象年齢に合わせて文字の大きさやレイアウトを構成することも重要であると感じました。また、指導媒体を作成したことによってその疾患についての知識を再確認することができ、食事療法では身近な食品に置き換えて行うことができたので良い経験になりました。
- ・ プレゼンテーション資料を作成するにあたっては、対象者に合わせた文字の大きさなど、対象者が大事であることを学びました。しかし、それをどう実践するかということに悩みました。目次で章立てしたり、起承転結の原則に従って資料を作成すると分かりやすいことが分かりました。

7. 課題への取り組み

- ・ 課題を再提出するにあたって、どこを訂正したらいいか、どのようなことを考えたらいいのか具体的に指摘して頂き、とても勉強になりました。
- ・ 課題となった献立は、実際に調理する機会までいただきました。実際に作ることができ、学ぶ事が多かったです。
- ・ 献立作成の課題があり、常食からエネルギー塩分コントロール食に展開して、実際に自宅で6食調理し、プレゼンテーションを行わせていただきました。病院食ということで、気を付けなければいけない点がたくさんあり、作るのが難しかったのですが、

アドバイスをたくさんしていただいたのでとても勉強になりました。

- ・ 今回の実習は自分の改善点や限界など自分も見つめ直すきっかけにもなりました。計画的に課題を進めなかったため、実習後半の限られた時間の中で行わなければならない、その結果徹夜をしても終わらない事態になりました。何日も続けると慣れてくるのですが、効率が悪く悪循環に陥ってしまいました。一緒に実習に臨んだ実習生や先生にも迷惑をかけてしまいました。私が思っていたより自分の書くスピードが遅く、掘り下げて考えていくことが苦手だったので、実習書も書き終わらず途中で提出する時もありました。このような事態に二度とならないように早め早めの行動をしていきます。
- ・ 献立作成の課題を頂きました。献立作成では、実際に調味料を計ってみたり、御膳に並べられたところをイメージしてみることが大事であると学ぶことができました。
- ・ 腎臓病食への展開では、主菜の肉や魚の量が常食より少なくなりますが、その分何かの料理を追加するなど、患者さんの気持ちを考えて献立を作成することが重要であると感じました。
- ・ 課題は再提出があり、丁寧に添削していただけたのでとても勉強になりました。

8. 感想・反省

- ・ 実習を通して病院の管理栄養士の業務を幅広く学ぶことができとても充実した実習期間でした。
- ・ 管理栄養士としてだけでなく、社会人として“臨機応変に動く”ことがいかに大切かを学びました。
- ・ 実際の現場を見て、新鮮だったことや刺激を受けたことが沢山ありました。
- ・ 嗜好調査のアンケート回収時では、実際に患者さんのもとへ伺い、聞き取りをさせていただきました。その際、OSCEの経験がとても役立ちました。患者さんを目の前にするとすごく緊張しましたが、この経験が自分の強みになったと思います。
- ・ 知識だけでなく、教科書には載っていない経験、人間性としても学ぶ部分が沢山ありました。
- ・ 食品会社の栄養情報担当者さんが来てくださって経腸栄養やゼリーについて詳しく説明してくれました。企業の方から詳しくお話を聞ける機会がなかったので良かった

です。

- ・ 看護師さんから「管理栄養士のお陰で食事が良くなったよ」と言って頂いているところを見て、私もそうなりたいと思いました。
- ・ 医療従事者や給食従事者だけでなく業者さんとの関わりも大切で、質やコストを維持したり災害時に食料を援助してもらったりと、繋がりを大切にしていることがわかりました。
- ・ 医療の仕事はどの職種でも記録をすることで成り立っていくものだと感じ、些細なことでも記録することが大切だと思いました。
- ・ 病院の管理栄養士は、栄養指導や患者訪問、栄養管理計画書作成などの栄養管理の仕事はもちろん週間献立の作成や食事調査の用紙の準備など、事務的な仕事も行っていることがわかりました。
- ・ 実習期間中、患者さんの上腕・下腿の測定をさせていただきました。大学の学内実習で行ったことを実践できて良かったです。
- ・ 病院によっては病室で一人で食事をするところがありますが、私の実習先の病院では、誰かと一緒に食事をする場があり、その良さを実感しました。会話をしたり、人が食事をしている姿を見て食事が進んだりする効果があると思いました。
- ・ 患者様と関わるなかで伝えることの難しさや思いを汲み取ることの難しさを学び、相手の気持ちに寄り添う姿勢が大切だということを知りました。
- ・ 匂い、見た目、自分で調理することなど、五感を最大限に使っていくことは食欲を増進させるうえでとても重要であると感じました。
- ・ 地域がん診療連携拠点病院ということで、がん患者さんとそのご家族、がん体験者の方々など、参加者の皆さんが悩み・不安、生活の工夫などを語り合う「がんサロン」に参加させていただきましたが、そこでは教科書や授業などでは学ぶことのできない患者さんの生の声を聴くことができました。こういった会を開催することにより「苦しいのは自分だけではない」と勇気づけられたり、頑張ろうと思えるきっかけにもなると感じました。
- ・ 栄養の知識だけでなく、料理の知識やコミュニケーション力の必要さも強く感じました。
- ・ 患者さんが実践されていることで、科学的な根拠からすると間違っていることは、患

者さんの気持ちには配慮しつつきちんと正しくアドバイスしてあげられることが大切だと思いました。

- ・ 患者様は自分の疾患に関して不安に思うからこそ、よく調べていると感じました。患者様の中には、最新の健康食品や補助食品の情報も取り入れている場合もあるので、管理栄養士は適切なアドバイスをするために、常にアンテナを張って、情報収集を欠かせないようにしなければならぬと感じました。
- ・ インシデントやアクシデントが起こった場合、それはインシデントやアクシデントを起こした個人の問題ではなく、起こすような環境やシステムに問題があるのだと教えていただき、とても勉強になりました。
- ・ 管理栄養士の先生方の知識がとても豊富で、私ももっと勉強しなければならぬと感じました。
- ・ 知識以上に、挨拶や礼儀など、社会人としてマナーがなっていなかったことを反省しました。
- ・ 挨拶は、コミュニケーションの基本であるということを改めて実感しました。
- ・ 大学の授業の中で、ロールプレイを行ったはずなのに、実際に管理栄養士の先生を目の前にすると思い通りに出来なかったため、もっと経験と勉強が必要と感じました。
- ・ 食事が進まなかった患者さんに栄養補助食品のアイスを提供するということがありました。それがきっかけで食事が少しずつ食べられるようになり、アイスがきっかけになることがあることに驚きました。患者さんが食べてくれるきっかけになるものを提案出来る知識や経験も大切だと思いました。

特定給食施設で実習を終えた学生の声

特定給食施設（病院を除く）における実習終了後の感想文の中から、代表的なコメントを抜粋してまとめました。

1. 全般

<保育園等>

- ・ 年齢や障がいの有無など、一人ひとりの子どもにあった切り方や盛り付け方を工夫しており、とても勉強になりました。
- ・ 野菜の皮も食べられるものは皮つきで提供し、できるだけ食品ロスを少なくして提供しており、経済面、環境面などについても学びを深めることができました。
- ・ 今の時代、家庭で比較的簡単にお肉が食べられるということで、不足しがちな野菜や魚などを用いて伝統的な和食を中心に献立が立てられており、献立作成における工夫について学ぶことができました。
- ・ 幼い頃から実習先の給食を食べて育った子は、野菜を食べる機会が多いことで将来好き嫌いをする子が少ないとのことでした。小さい頃からの食育が、味覚や食習慣に与える影響について学ぶことができたと思います。
- ・ 子ども達にとって、食事の時間は学びの場でもあるということが分かった気がします。
- ・ 野菜の下処理を子ども達と一緒にやったのですが、実際に楽しく見て触れることで、苦手な野菜でも食べてみようという意欲に繋がることが分かりました。
- ・ 子ども達と採ってきた梅で梅ジュースの仕込みを行ったのですが、作る過程や食材の確認をしながら丁寧に説明し、一緒に楽しみながら行うことで、記憶に結びつく食育が行えることが分かりました。
- ・ 若い栄養士さん（責任者）とベテランの調理員さんとの間に年代ギャップがある場合、業務を円滑に進めるためにマネジメントが重要であることが分かりました。
- ・ 1週間で様々なことを学ぶことが出来ましたが、まだまだ学びたいことがあったので、もう少し実習をさせて頂けるとさらに勉強になったと思いました。

- ・午前中は昼食まで時間に追われており、実習生として自分が何をすればいいかわからないことが多かったのですが、ただ突っ立っているだけでは邪魔になる上自分の経験にもならないと感じ、積極的に行動しました。すると優しく指導していただき、仕事をする上ではやはり積極性が大切なのだと感じました。
- ・小さいことでも気になったことは質問することで、自ら勉強することが本当の勉強なのだと感じました。
- ・調理師さんに直接調理技術を教えていただける時間があり、大学では学べないことが学べ、とても勉強になりました。
- ・対象者に合わせた献立作成や調理法がいかに重要かということ、身をもって学ぶことができました。食物アレルギー対応やその他の個別対応が徹底されており、保育園で働く上で大切なことを学ぶことができましたと思います。
- ・おやつは全て手作りで、栄養バランスや食感を出すための工夫まで考えられており、保育園での仕事は大変だけど素晴らしい仕事だと感じました。
- ・調理技術や知識が欠けていることを実感したので、家でも包丁を握る機会を増やしていきたいと思いました。

<自衛隊>

- ・自衛隊で給食実習をしてみたいと思ったことが城西大学に入学した理由の1つでもあったので、4年越しに夢をかなえることができうれしかったです。
- ・平均喫食者数が平日 1,500 食/日・休日 600 食/日ということで、先を見通して効率よく作業を行う事が最も重要視されていると感じました。時間で動いている隊員（喫食者）の方々を待たせることなく適温で食事提供できるかが勝負でしたが、要所にたくさんの方の工夫がなされており、大変勉強になりました。
- ・厨房の管理として、厨房は HACCP が導入される前（20 年前）に建てられた施設とすることで、ドライシステムではありませんでした。しかし、手洗いの徹底、二重手袋の装着、次亜塩素酸を染み込ませたマットの設置等、今ある設備の中でできることは徹底的に行われておりました。また、衛生管理については大学で勉強し当たり前の知識として頭に入っているはずでしたが、それを実践しようとする事は想像以上に難しいということが分かりました。

- ・ 毎日、実習開始時と終了時に全員で受付に向かって礼をするのですが、最終日に隊員（喫食者）の方から「ごちそうさまでした」と声をかけて頂き、すごくうれしかったです。毎日美味しく満足していただける食事を提供し、喜んでいただくことが、自衛隊で働く管理栄養士の使命であると改めて実感しました。
- ・ 時間内に配食を間に合わせることの重要性と同時に、食事を提供する上で盛り付けにも配慮する（手早くきれいに盛り付ける）ことの重要性を学びました。
- ・ 衛生教育では大量調理施設衛生管理マニュアルの手引きをもとに委託業者とも情報共有を行っており、管理栄養士だけでなく調理に関わるすべての方に衛生教育を徹底することの重要性を学ぶことができました。
- ・ 自衛隊の管理栄養士の主な業務（献立作成、個人栄養指導、糧食購入要求書作成、見本審査）について、業務や献立の変更などだけではなく、自衛隊特有の帳票類について学ぶことができました。
- ・ 実習では経験したことのない大量の食材を裁断してとても大変でしたが、体力だけでなく技術も必要だということを知りました。
- ・ 規則に対して厳しい実習施設でしたが、規則を守っていれば優しい方達ばかりで、物事を円滑に滞りなく進めるためのマネジメントにおける“規則の意義・大切さ”について学ぶことができました。
- ・ 「大学ではエネルギーを下げることはやってきたけど、上げることはやってこなかった」という管理栄養士さんの言葉が印象的で、物事に対する視野を広げることができたと思います。
- ・ 献立作成では隊員の嗜好を考慮するためのリクエスト献立や生活習慣病を重視した献立、旬の食材を活用した献立など献立変化を重視し作成されていて、食材や疾患の情報、隊員の健康状態や嗜好についての知識が必要だと感じました。
- ・ 今回実施した施設の概要や現状について学ぶことができ、その中で大量調理施設衛生管理マニュアルの内容について確認し理解することができました。また自分の理解の違いや勉強が足りてない事も実感しました。
- ・ 実習施設では毎朝調理業者と管理栄養士、糧食班班長、食堂・厨房・監督官がミーティングを実施し献立の作り方や作業内容等の認識の統一、確認を行っており調理業務がスムーズで、安全に食事が提供されている理由の一つだと感じ、献立作成や発注な

どだけでなく調理従事者や他の職員の方との連携、コミュニケーション能力が必要であると考えました。

- ・調理に関して不慣れな部分が多かったため、普段からもっと包丁を握る機会を増やし、調理を行おうと思いました。
- ・私は、多くの方の健康を食事・栄養面からサポートすることで対象者の方々に笑顔になっていただきたいと考えているため、食事を美味しく食べて頂いている姿や、「ありがとうございます。」「ごちそうさまでした。」などの言葉をいただけたことで、とてもやりがいを感じました。
- ・年間予算が決まっていることを教えていただき、限られた予算の中で最高のサービスを提供できるよう、日々努力されているのだと感じました。
- ・配食の際に対象者（隊員）の方々に一声かけることも、おいしい食事を提供するための工夫ということ学びました。
- ・献立作成において、旬の食材や食品の流通経路についても知識を有していることが大切だと教えていただき、とても勉強になりました。
- ・お昼ご飯は対象者（隊員）の方と同じものをいただけたのですが、とてもおいしくて、実際に試食させていただいたことで勉強になることも多かったです。
- ・献立作成では、例え同じメニューになってしまっても食材の形態を変えるなどして、少しでも工夫しようと努力されているのが印象的でした。

2.施設・指導者

- ・管理栄養士の先生は献立を一人で作り、厨房の管理まで行うのは凄く大変だろうと感じましたが、給食班の方々はみんな親切で和気あいあいとしていて、チームワークの大切さを学ぶことができたと思います。
- ・管理栄養士の先生とゆっくり話す時間は特に設けられていなかったのですが、自分から話しかけることで色々なご指導をいただけてよかったです。
- ・大量調理施設衛生管理マニュアルの内容について確認し理解することができました。原則としての衛生管理基準としながらも、実情を踏まえて臨機応変に対応することが重要ということ学びました。

- ・ 毎朝調理師や管理栄養士、糧食班班長、食堂・厨房・監督官などがミーティングを行ってから作業を開始することで業務が円滑に行われており、マネジメントの重要性について学ぶことができました。
- ・ 管理栄養士の業務に自衛隊のメタボ要因の方を対象に栄養指導の実施があるとのことで、今回の実習では拝見する機会はありませんでしたが、知ることができ良かったです。

保健施設で実習を終えた学生の声

保健施設における実習終了後の感想文の中から、代表的なコメントを抜粋してまとめました。

1. 全般

- ・ 実際に対象者である市民の方にもお話が聴けて、とてもよい経験になりました。専門知識だけでなく、普段の生活においてもいかに自分の知識が不足しているかを実感しました。
- ・ やわらかい笑顔の中に芯のある管理栄養士の先生方で憧れました。
- ・ 対象者の方々の健診票を見せていただいて、それぞれに本当にたくさんの悩みがあることが分かりました。
- ・ 色々な視点から考えることを意識して取り組みましたが、事業提案を考える際に一つの視点に捕らわれて、詰めの甘さをご指導いただきました。総合的に考察することはとても難しいことを実感しました。
- ・ 保健師さんに乳がん検診を案内していただいたり、普段なかなか聞くことができないお話を聞くことができ、他職種の方とも関わることができ勉強になりました。
- ・ 当然のことかもしれませんが、保健センターの業務について教科書やネット情報だけではわかり得ないことまで学ぶことができたので、とても勉強になりました。
- ・ 乳幼児や高齢者など、普段なかなか関わることのできない幅広い年齢層の方々とも関わることができ、本当に広い知識が必要であることが分かりました。
- ・ 保健センターで実習をさせて頂いたことで、業務の幅が広く大変だけどやりがいを感じて、行政栄養士として働いてみたいと改めて思いました。
- ・ 実習に行って社会で働くということを考えさせていただき、濃密な実習期間で、たくさんの刺激をいただけたと思います。
- ・ 市内の給食施設へ監督指導に行くことで集団給食の安全性が守られていると感じ、地域の安心な健康作りのためにもとても重要な業務であると感じました。
- ・ 保健所・保健センターに管理栄養士がいることで生活習慣病の罹患率を抑制しており、

病院との連携も含め、医療費抑制など国の重要な課題に貢献しているのだと実感しました。

2. 栄養相談

- ・ 対象者の方々は栄養相談で相手の話しやすさを感じ取って話す内容を変えているように感じました。この話しやすさは、笑顔で挨拶することなど、基本的なコミュニケーション能力が関係していたように思います。
- ・ 栄養相談は話の内容だけでなく、相手に対する気遣いなどの立ち振る舞いについても学ぶことができました。
- ・ 栄養相談を見学させていただき、対象者さんに寄り添って考えることの大切さと難しさを実感しました。
- ・ 実習に行くまで実際に栄養相談をしているところを見たことがなかったのですが、実際には色々と工夫がなされており、とても感動し勉強になりました。
- ・ 糖尿病予防教室を見学させていただいたのですが、管理栄養士の先生のお話がとても分かりやすく、それによって教室内に一体感が生まれたのですごいと思いました。
- ・ 保健センターで離乳食教室や乳児相談を実施することは、どこで誰に相談したらいいかわからないと感じているお母さんたちにとって、まず気軽に相談できる場となっているのだなと感じました。
- ・ 高齢者を対象とした集団運動教室を運動強度に合わせて実施することで、同レベルの運動強度の対象者さんへの指導が一斉に行えるため、教室内に一体感が生まれて教育効果が高まることを学びました。

薬局で実習を終えた学生の声

薬局における実習終了後の感想文の中から、代表的なコメントを抜粋してまとめました。

1. 全般について

- ・ 品出しで最初は陳列の場所を探して覚えなくてはならず、時間がかかってしまいました。慣れていくうちにスムーズに出来るようになりましたが、実際にはお客さんに場所を聞かれることもあると感じたので、基本的なことかもしれませんが大事なことで感じました。
- ・ 品出しをしているとどの商品がよく売れているのかが分かるので、多少アナログかもしれませんが、そういう点も注意深く観察することが大切ではないかと感じました。
- ・ トイレットペーパーやティッシュペーパーの補充もダンボールが思っていた以上に重く、体力も必要とされる仕事なんだと感じました。
- ・ ドラッグストアに調剤薬局が併設されていることで、待ち時間に買い物ができるというメリットがあることに気づくことができました。
- ・ 大学で学ぶことのない実際の業務を体験し、患者さまや地域の方のニーズや、社会の中での適切な役割・距離感等について、改めて考えるきっかけになりました。
- ・ 健康フェアイベントに参加してくださった患者様の中には、毎回参加し、このイベントを楽しみにしてくれている方がいることを知りました。このようなイベントは、患者様や地域の方々の輪を繋ぎ、地域での健康意識を向上させる形で貢献していくことができると思ったので、とてもよいイベントだと感じました。
- ・ 事務では、処方箋受け取りや患者情報の登録などを行っていて、今まで何を行っていたのか知らなかったのが、実習のおかげでとても勉強になりました。
- ・ 地域のセミナー、区で行われた栄養相談などに参加する方がとても多く、健康や食生活に興味・関心が高い人の方が多いことが分かりました。
- ・ 多店舗を見学させていただき、それぞれの店舗の特徴や共通しているところを合わせて学ぶことが出来たので、とても勉強になりました。
- ・ 実習先の先生が実際リーフレットを作る際に参考にしているホームページやイラスト

トなども教えていただき、アドバイスをいただきました。これから媒体を作る機会がとて多くなると思うので、大変参考になりました。

- ・ 今までずっと積極的にと指導を受けてきましたが、この実習を通して、その意味や大切さが分かったような気がしました。
- ・ 天候によっても集客数に変動があることが分かり、今まで分からなかったことが分かり、とても勉強になったと思います。
- ・ 1日中歩き回ったり、立っていたりするため、仕事をする上では体力が基本だと感じました。
- ・ ドラッグストアは、病気の予防を促す場として大きな可能性を秘めているように感じました。
- ・ 積極的な姿勢と行動力について、その重要性を知ることが出来ました。日常、色々なところにアンテナを張り巡らせ、情報を入手することが重要になると思いました。また、それを実用化させるためには実際に行動に移すことがさらに重要になってくることを感じました。
- ・ 多職種連携について、薬剤師さんの服薬指導中に保健機能食品の話が出てきた際は、専門家である管理栄養士さん呼び、両者間で迅速な情報共有・引き継ぎを行った後で一旦管理栄養士に交代するなど、相談・指導の際に多職種で連携しながら行って大変勉強になりました。
- ・ 毎日が刺激的であつという間に過ぎていった5日間でした。薬局管理栄養士の業務内容だけでなく、誰かの健康を願う一人の人間として、その姿勢や価値観について改めて考えさせられた気がします。大変なこともたくさんありましたが、充実した実習になったと思います。

2. 薬局業務について

- ・ 調剤室の薬はあいうえお順に整理して陳列されていましたが、似たような名前の薬もあったため、インシデント防止のためによく確認しながら作業を行うことが大切だと教えていただきました。
- ・ 商品は賞味期限をチェックしながら先入先出法を徹底することで、お客様に賞味期限

切れの商品が渡ってしまわないように管理していることを学びました。

- ・ 調剤室を見学させて頂いた際、1日の処方箋の多さに驚きました。しかも、毎日様々な疾患を抱えていらっしゃる患者さんが来られるため、幅広い薬の知識が必要であることが分かりました。
- ・ 薬局で管理栄養士がどのような業務を行っているのかを具体的に知れる機会はなかなかないと思うので、とてもよい経験となりました。
- ・ 服薬指導の際は、どの薬剤師の先生も患者様一人ひとりの体調や薬の変化などについて丁寧に聞き取りを行ってから指導されており、印象的でした。
- ・ 商品の陳列は様々なカテゴリーごとに分類されていて、例えば鎮痛剤の隣には風邪薬、皮膚治療薬の隣には肩こりや筋肉痛に効く薬が置かれていたり、お客さまが商品を見つけやすいように導線が組まれていることが分かり、とても勉強になりました。

3. 施設・指導者

- ・ 社員さんとパートさんの仲がとても良く、雰囲気の良い実習先でした。質問等にはみなさん優しく答えてくださり、作業も丁寧に指導いただき、環境に恵まれた実習ができとても楽しかったです。
- ・ 決まった時間に店内清掃を行うことで、店内をいつも清潔な状態に保っているということを学びました。
- ・ 薬局の管理栄養士、薬剤師、登録販売者、事務員のすべての方々に親切に接していただき、充実した実習となりました。たくさんの事をお忙しい中教えて頂いたのも、今後の学内での自習や勉強をはじめ、学外実習、そして社会に出てからも役立てたいと思っています。
- ・ 実習先でお世話になった先生に憧れを抱きました。いつも患者様を第一に考えて行動されていて、私も先生みたいに人のために働ける人になりたいと思いました。
- ・ 付近のクリニックや病院の内容によって、薬局に来店する患者さんの傾向が変わってくるということだったので、そういうことまで考えながら働いていけるようになりたいと感じました。
- ・ 実習先の先生方は質問すると丁寧に答えてくださったので、疑問に思ったことはすぐ

に解決できてよかったです。

- ・ 管理栄養士、薬剤師の先生方全員が仕事に対して、常に笑顔で楽しそうに誇りをもって仕事をしている印象を受けました。
- ・ 実習前から薬局管理栄養士になりたいと考えていましたが、実習をさせていただき、さらに薬局で働きたいという気持ちが強くなりました。
- ・ 実際に患者さんとお話させていただき、就職し働くようになったら、私たちには責任が伴うということを改めて感じました。
- ・ お忙しい中、たくさんの時間を割いていただき、管理栄養士の先生だけでなく薬剤師の先生、事務の方にまでたくさんお話を伺うことができ、非常に勉強になりました。
- ・ 業務だけでなく一人の人間としてできること・やるべきことも教えていただきました。
- ・ 作業内容としては店内の品出しやメンテナンス(補充、床が濡れてないか)など小売業としての作業が多めですが、その中でも患者様が気持ちよく店舗を利用できるための工夫が沢山散りばめられていて、一生懸命働いていらっしゃる姿が素敵だなと感じました。

4. 薬局における管理栄養士について

- ・ 大学内での実習は臨時実習先でも役立つことが多く、特に OSCE 試験でやった栄養相談や情報収集は薬にとっても役に立ちました。また実際に接客アンケートを行ってみた結果、ドラッグストアに管理栄養士がいる事を知っても栄養相談を受けたいと思う方は少なかったですが、食品と薬との相互作用が心配なので教えてくれると助かるとお考えのお客様の意見は多い事が分かりました。
- ・ 実習先の課題で商品調査があり、大学の授業で行った食品機能学の授業がとても役に立ち、商品を調べるのが楽しかったです。
- ・ 食塩無添加ナッツの試食会をするために POP 作成をさせていただきました。また当日の試食会では、接客や人と人との繋がり的重要性について改めて学ぶことができ、実際に商品を購入していただけた時はとても嬉しかったです。
- ・ 実習に行く前はドラッグストアに管理栄養士がいることはあまり知られていないと聞いていたのですが、実際は思っていたよりも多くの方が知っていてくださったので、薬局管理栄養士のあり方を今後さらに考えていきたいと思いました。

- ・ 薬局での管理栄養士の役割、心構え、患者様との関わり方、店舗ごとの違いや工夫などを学ぶことができ、とても有意義な実習となりました。
- ・ 栄養相談を見学させていただきました。「パンは何枚切りですか？」や「何時ごろ食事をされていますか？」、「汗はたくさんかきますか？」など普段あまり気にならないことも、私の感覚とは違うためしっかり質問することが大切だと思いました。またいきなり話し出すのではなく、患者様が話しやすい雰囲気づくりも重要で、共感や承認の大切さについても改めて学ぶことができたと思います。
- ・ 薬局は薬剤師が活躍しているイメージが大きかったのですが、その薬剤師さんから「処方箋を持ってくる患者さんの中には処方する薬の種類によって避けるべき食べ物がある為、管理栄養士がいると相談できるので有り難い」という言葉をいただき、薬局にとっても管理栄養士は重要な存在なのだとの認識が大きく変わりました。

5. コミュニケーション能力・知識など

- ・ 実習先薬局では近くの老人施設に調剤した薬を届けていたのですが、常連のお客さん（患者さん）が多く、薬剤師さんとも名前呼び合っていたので、地域との関わり・信頼性が強いなと感じました。
- ・ 調剤や栄養指導をする上で、患者さんの情報をしっかりと把握しておくことが大切だと思いました。そのために、コミュニケーションをとることが重要だと感じます(何気ない日常会話からも得られることがあると思います)。
- ・ 薬局で働くためには、もっと薬についての知識を得なければいけないと感じました。
- ・ 薬局内に掲示する媒体を作らせていただいたのですが、誰が見ても誤解しないような言葉で言い換えることが難しかったです。
- ・ POP 作成を体験し、わかりやすく、誤解がないように伝える難しさや大変さについて学ぶことができ、またその工夫の仕方についても学ぶことができました。
- ・ 売り場づくりではお客様の目線に入るところに季節の商品を置いたり、POP を使用しておすすみを分かりやすく表示するなど様々な工夫がなされており、とても勉強になりました。
- ・ 健康フェアイベントでの患者様への対応や食事相談のロールプレイでは、患者様 1 人 1 人から丁寧に情報を伺い、的確に判断できる力が必要だということ学ぶことがで

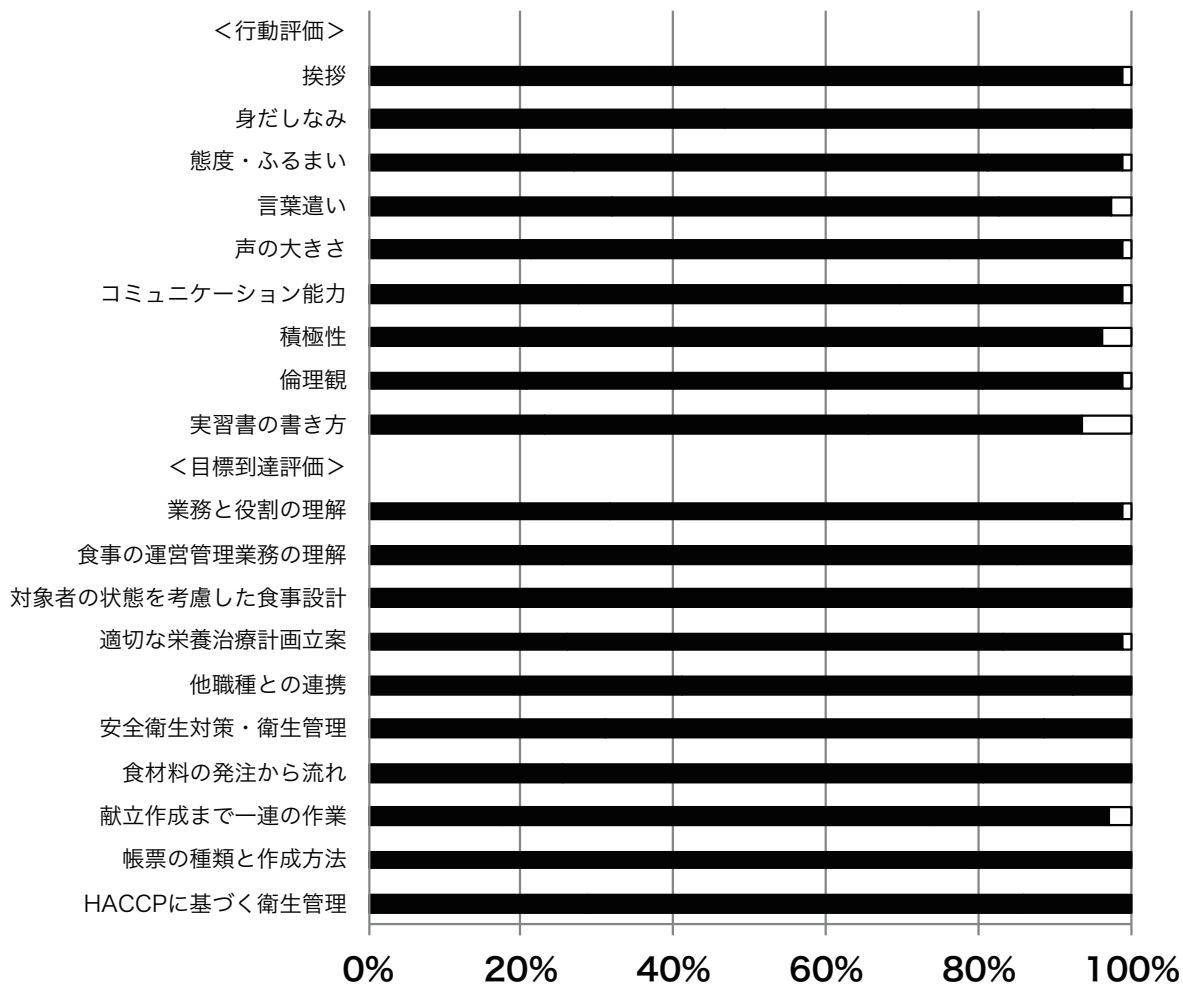
きました。またそのために、薬局管理栄養士には料理や食品の知識がとても重要であると感じ、これからもっと幅広い知識を身に付けていくことが必要であると感じました。

- ・ 症例検討をさせていただきました。なぜこの薬が処方されているのか、相互作用の有無、容量用量の違いなど、細かいところまで考察しなければいけなかったのが大変でしたが、どこを見ればよいのかを教えていただきとても勉強になりました。
- ・ 最終日には店長さんを対象に栄養相談のロールプレイを行わせて頂きましたが、フィードバックの際に細かくアドバイスをいただき、実際に相談に来られた患者さんに接する際の注意点など、丁寧にご指導いただけたのでとても勉強になりました。
- ・ 店長さんや従業員さんはわかりやすい言葉や表現を用いて指導していただき、他人にわかりやすく伝える能力が重要であることを教えていただきました。

8. 実習評価と意見・要望

臨地実習 A（臨床栄養）・B（給食経営管理）の評価とご意見

■ 平均以上 □ 平均以下



代表的なコメントを抜粋しました。

- ・ 献立の試作調理では、野菜の切り方は適切でしたが、調理の練習をもう少し重ねるとより良くなると思います。症例報告では、中心静脈栄養や嚥下訓練に関して学びました。
- ・ 挨拶と言葉遣いが丁寧なのが印象的でした。腹痛や遅刻等があったため、自己管理を

徹底していけると良いと思います。

- ・ 実習態度は良かったですが、もう少し積極的に質問ができることより充実した実習になったと思います。
- ・ 実習を通して、患者や他職種とのコミュニケーションが大切であることが理解できたと思います。今後はコミュニケーション能力を伸ばす様に努力してもらいたいと思います。
- ・ 模擬栄養指導では、患者さん用の媒体を見やすいものを作って指導していました。
- ・ 積極的に実習をしていて、質問も多かったです。課題への取り組みも積極的でした。
- ・ 実習態度として積極性を感じられた。実習書や指導した内容に関して速やかにメモを取り、上手にまとめていた印象がある。リーフレット作成では、レイアウトも見やすい構造で立派な出来栄であった。常に自らの考えと現状とを比較し、疑問に感じたところは質問する姿勢は彼の長所であると考えますので、これからの成長に期待したく存じます。
- ・ 臨床栄養については、基礎的な知識も身につけており、NST 介入患者のアセスメントも的確に実施できていました。ベットサイド訪問についても、笑顔で対応できていました。給食管理については、事前の課題とした献立作成もほぼ完成した状態で提供され、実際にその献立を実施した際の患者からの評価も良かったです。
- ・ 班長として、気遣いをしながら行動してくれました。実習の後半は熱心に自己課題にも取り組んでおり、頑張っていたことを評価します。
- ・ 4 週間頑張りましたが、もう少し積極性が欲しかったです。卒業までに学ぶべきことが見えてきたと思いますので、この実習を活かして学んで下さい。
- ・ 実習においては熱心に取り組む姿勢が伺えました。リハビリ科、薬剤科での見学、実習も体験し、チーム医療についても学ぶことができました。また、「健診・クリニック」での透析指導など幅広く管理栄養士の業務について理解を深めることができたように思われます。
- ・ 挨拶や態度は非常に良かったと思います。ささいな疑問に対しても積極的に質問する姿もありました。献立作成、栄養指導はまだまだ未熟かと思いますが、今後の成長が楽しみです。実習書は読みやすかったですが、誤字が気になりました。
- ・ 人当たりが良く、対人関係を上手く作ることができていました。4 週間の中でもう少

し積極性が見られると良いと思いました。

- ・ 栄養士業務全般を見てもらいました。スタッフや患者さんと率先してコミュニケーションを図り、積極性がある点が評価でき、本人の長所と考えます。今後経験を積み、社会人として、ご活躍する事を期待します。
- ・ 他科の見学や講義の際、積極的に質問しており、有意義な実習にしようという姿勢が見られました。課題の1つであったロールプレイも回数を重ねるごとに、前回の反省を生かしたロールプレイになっていたと思います。
- ・ 午前には主に厨房業務（検収から調理、配膳まで）を委託業者主導で行いました。衛生管理や治療食の意味等について指導があったと思います。二週目には勝手もわかり、一戦力となっていました。午後は、他職（薬剤、放射線、臨床検査）より部門見学と仕事内容の説明、他リハビリ室、透析室、嚥下検査（VE）見学、各診療科の回診、カンファレンス、NST回診、褥瘡回診、小児食物アレルギー負荷試験、退院時多職種合同カンファレンス等を見学し、実際の栄養士の仕事と他職種との関わりを見ることが出来たと思います。課題として院内掲示の健康増進ポスターを作成してもらいました。何かと忙しく作成時間は短かったのですが、丁寧で分かりやすいものが出来たと思います。
- ・ 今回の実習では、厨房での給食管理業務（主に洗浄と盛り付け）が比較的多かったため、体力を要しました。それと同時に調理師、パートさんとのコミュニケーションが課題であったと思います。実習書では、要点や気づきが整理できていましたが、実際、現場での声の大きさやふるまいがもう少し向上できると良かったと思います。来春管理栄養士として活躍されることを期待しております。
- ・ 実習に真面目に取り組んでおり、積極的に質問をしていました。
- ・ 毎日、ささいな事でもよく質問をし、疑問点を解決しようとする努力がみられました。患者さんとお話をする際には、常に笑顔で温かい対応をしており、困っている事があった患者さんには丁寧に傾聴し、伝達をしてくれました。栄養指導では、手作りで思わず大切に保存したいと思える媒体を作成しました。対象患者さんやご家族もすごく喜ばれており、学生さんにとっても良い経験ができたと思います。本人なりの改善点や良かった所を見つける事ができたので、これからの活動等に活かして頂きたいと思います。
- ・ 積極性がもう少しあれば尚良かったです。プレゼン能力は高いので、更に伸ばしてい

ただきたいです。

- ・ 臨地ならではの体験、学びが色々とできたのではないかと思います。実習前の課題は糖尿病食の献立作成でしたが、給食管理では献立がなければ発注も調理作業もできないということ、更に病院という施設特性から疾患の理解がなければ適応した献立ができないこと、またニュークックチルという独特な食事提供方法について見て頂きました。臨床では常にナゼ？と問いかけ、なぜ減塩するのか、なぜ食べられないのか、なぜ栄養指導が必要なのか、深く探求することができたのではないかと思います。十分な配慮をしてあげることができませんでしたが、今後を決める1つの糧になれば嬉しく思います。
- ・ 長期間の実習を積極的な姿勢で学んでいました。実習の中で、病院職員の質問に回答できなかった事は、自己学習で次の機会には、答えることができていました。実習カリキュラム一つ一つについて、その業務の目的をとらえ、実習記録に自分の言葉で感想を記述していました。プレゼンテーションも良く出来ていました。卒業後の活躍を期待しています。
- ・ 実習の前半は、もの静かで積極性に欠けていたように見えてましたが、課題の献立作成を完成してからは時折笑顔が見られるようになりました。
- ・ 栄養指導用パンフレットの作成やロールプレイは非常に努力しており、コツコツ勉強家な一面を高く評価させて頂きたく存じます。
- ・ 病院勤務希望に向かって頑張りましょう。
- ・ 素直な性格で温和な人柄が病院職員に好感を持たれたようです。静かですが広い視野があり将来有望な管理栄養士になることが期待できそうに思います。
- ・ 4週間の臨地実習で、病院栄養士の活動を多方面から体験していただきました。暑い中、無事終了致しました事にホッと致しております。この実習を今後の学びに反映して頂けると良いと思います。
- ・ 真面目に取り組む姿勢は好感が持てました。学校での学習と現場での事象を結び付けでの理解が不足している印象を持ちました。これからの課題かと思えます。親しみやすい人柄は好印象でした。これから様々な経験を通し、人間性豊かで、自信にあふれた管理栄養士となられることを期待します。
- ・ 栄養食事指導媒体の作成や行事食献立の作成は工夫を重ね積極的に取り組まれました。

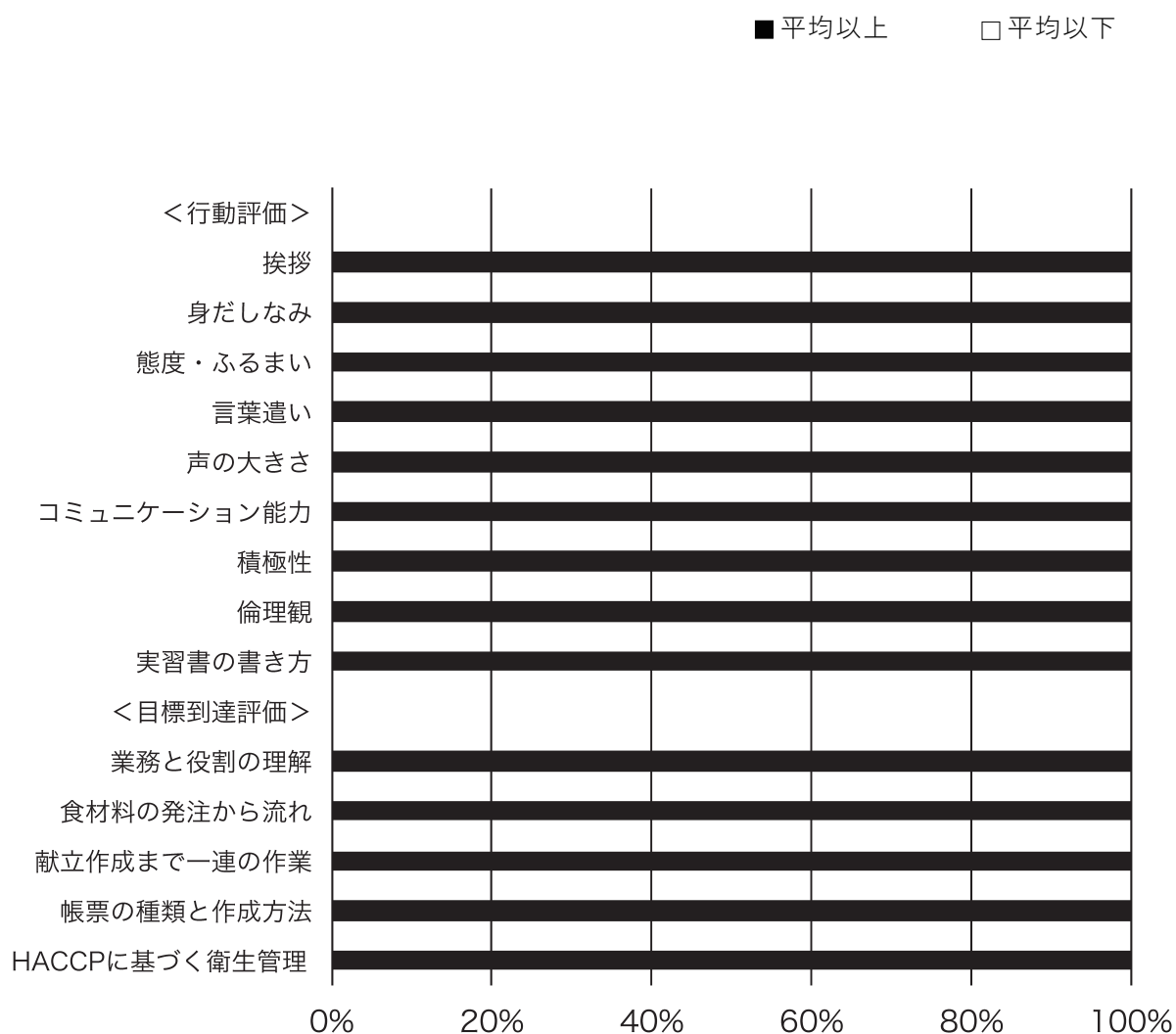
た。一部、ご自分の価値観のみで判断することがあり、多くのことを学ぼうとする姿勢があると良いかと思われます。同級生に対しての配慮を良く行えており、思いやりのある態度は立派です。

- ・ 課題レポートをしっかりと作成する事が出来ていました。
- ・ 落ち着いて実習に取り組むことが出来ていました。
- ・ 実習当初は質問する内容が基本的なことであり、もう少し努力が必要であると感じる場面がありました。理解するまで時間が人より掛かり、緊張し易いので、経験で力をつける事が一番だと思えます。
- ・ 4週間熱心に学ばれました。今までの学びと結びつけて考察し、理解を深めることができていました。
- ・ 病院という大きな組織の中で、多職種の中での管理栄養士の役割、又、栄養科という中での管理栄養士の位置、又、その管理栄養士の中でも各々の仕事の位置づけを理解出来ました。何事にも真面目に取り組み、作業速度は早く色々な課題をしっかりとこなすことが出来ました。今後の活躍に期待したいと思います。
- ・ 実習全体を通して真面目に取り組むことが出来ていました。スピーチでは、内容がまとまらないこともありましたが、アドバイスに対して改善していこうという姿勢が見られました。また、質問に対して率先して答えていました。実習を通して様々な気づきがあったように思われますので、今後の学習の中で気付いた点について、向き合っていくことで更に成長できると思えます。
- ・ 実習書の文字も丁寧で適切に記入し提出していました。糖尿病教室も減塩に関してポイントを絞った分かりやすい集団指導が行えていました。NSTなどのチーム医療を通して、専門職としてもっと多岐に渡る勉強をしていかなければと話していました。
- ・ 暑い中の実習でしたが、疲れた顔も見せずによくがんばっていました。終礼時にも、いつも何か質問をするなど積極性も見られました。実習ノートにおいては、内容（気づきなど）がもう少しよく書けていると良かったと思えました。
- ・ 実習書は簡潔にまとめてあり読みやすかったです。実習に対しても積極性はもう少しほしかったです。この実習で目的を果たすことはできたようですが、臨地実習Aは3週間あったので4週目はひとつの事に深く関わってもよかったかと思えます。また、質問された事がわからない場合、その場で教科書を開くことがありませんでした。

- ・ コミュニケーション能力が高く、厨房内で協力して作業できていました。前向きで明るく、協調性がありスムーズに行動していました。時々、言葉遣いや態度が実習生らしくない事もありましたが、注意すると、素直に聞き入れ改めていました。献立作成やリーフレット作成は集中して実習できていたと思います。
- ・ 実習を通して、終始消極的でしたが、栄養相談の見学等、知りたい内容について、後半少し積極的な姿勢も伺えました。当院の実習では、「考える」「自分の意見を述べる」「ディスカッション」ができることを掲げています。ノートには、自分なりの考えを記載できるようになってきたため、是非それを言葉にして、コミュニケーションをとり、早い成長につなげていただければと思います。今後の学生生活で学んで下さい。

給食施設（病院を除く）における臨地実習 B

（給食経営管理・給食運営）の評価とご意見



代表的なコメントを抜粋しました。

<特定給食施設（学校給食センター・特別養護老人ホーム・自衛隊）>

- ・ 5日間という短い期間でしたが、自主的・積極的に実習に取り組むことができました。また、自身が目標としていた調理員とのコミュニケーションも積極的にとることができました。学校での食指導についてもしっかりと準備して臨み、6年生の調理実習補

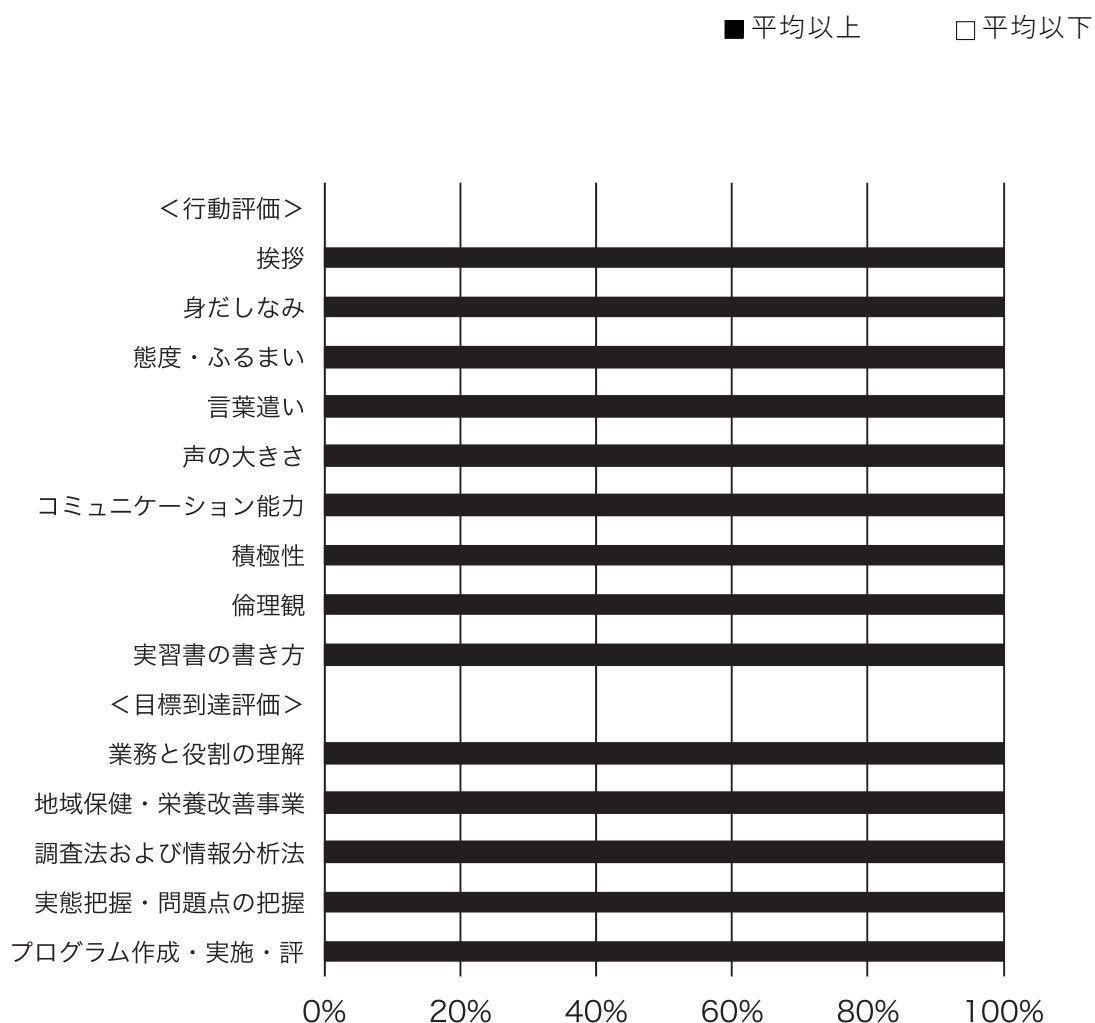
助においても自分で考えて行動でき、大変好感がもてました。

- ・ 実習中、他のことに気をとられ、集中を欠いて落ち着きが見られない点が気になりました。一点に集中することなく、様々な箇所に気を配ることは、積み重ねた経験により可能になります。まずは目の前のことや目の前で話している人に集中する姿勢を持ち、自分自身の行動を確実なものにしていって欲しいと思います。
- ・ とても積極的で、質問もたくさんしていただき、また自分の意見をしっかりと言うことが出来ていました(私達も勉強になりました)。入居者とコミュニケーションを図る時も、しっかりと視線を合わせ、ゆっくりと大きい声で話しかけていて、入居者さんたちもお話するのをとても喜んでいました。
- ・ 厨房内でも言われたこと、見たことをすぐに吸収し、出来ていたので良かったです。これからも積極的にがんばって下さい。ありがとうございました。

<児童福祉施設(保育所)>

- ・ 最初は緊張していた様子でしたが、徐々に慣れていくと、自ら、次に何をすれば良いのか聞いてくる事が出来ていました。疑問に思ったこともしっかり質問することが出来、お子様にも優しく声を掛けたりとコミュニケーションを取ることも出来ていました。毎日、翌日の献立表を確認し、野菜の切り方を考えてきており、素晴らしいと思いました。
- ・ 実習で上手に出来なかったことに対して、翌日には、改善点を考え、実行することが出来ていました。食事介助では、お子様への声掛けに戸惑う姿がありましたが、徐々に慣れてきて、工夫して食事介助を行っていました。保育士にも話しかけ、コミュニケーションを取ることも出来ていました。
- ・ 実習初日から熱心に仕事に取り組んでいたという印象を受けました。立ち仕事が多く大変だったかと思われそうですが、1つ1つの作業をとっても手際よくこなしていました。
- ・ 実習ノートには、1日の振り返りをしっかりと記入した上で、作業中に自分で気がついた点や工夫した点、考察などが細かく添えられており、自分なりによく考えて仕事に取り組んでいたのだということが、実習ノートを見ていて伝わってきました。また、子どもたちにも積極的に声をかけ、コミュニケーションをとっていました。

臨地実習 C（公衆栄養）の評価とご意見

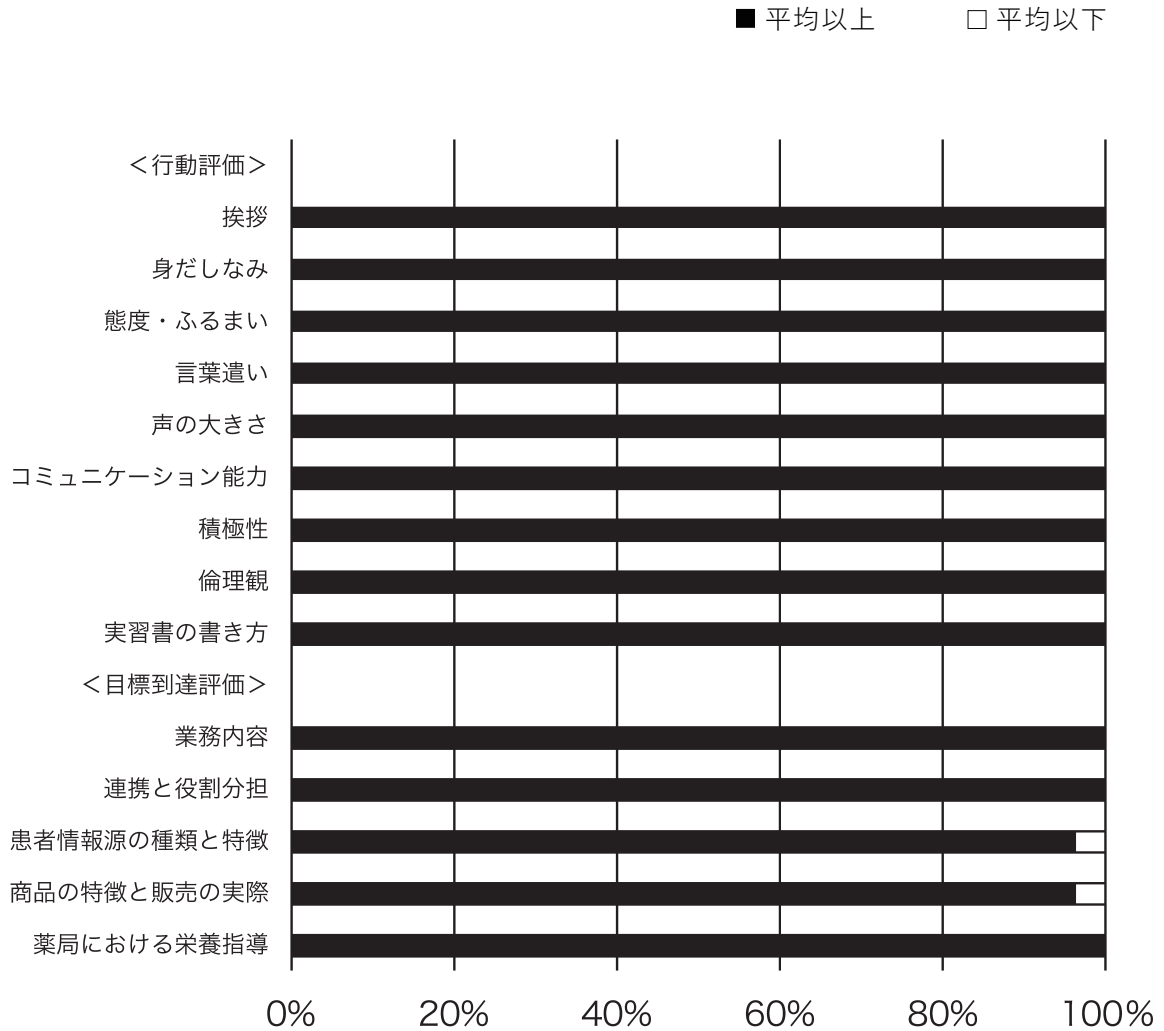


代表的なコメントを抜粋しました。

- ・ 施設で行っている各種教室や事業については、理解できたと思う。しかし、各事業と色々な法律、計画等の関連性まで理解することは1週間の短い実習では難しかったと感じる。1週間の実習前に実習先自治体の健康づくりに関係する計画を学校で伝えていただくと有り難い。
- ・ 行政管理栄養士の業務や役割について学び、必要な視点やスキル、自身の課題を見つけることができたようです。他領域の実習を通じてさらに学びを深め、管理栄養士として社会で活躍されることを期待しています。

- ・ 妊娠・出産・育児という母子保健のながれに興味を持ち、子どもの成長とともに変わっていく食の課題を中心に理解を深めていました。大学で学んだ栄養指導についても相手の立場や環境に寄り添い行っている栄養相談を実際に見ることで理解を深めていただけたようです。
- ・ よく考察された発言が多く、事前学習もしっかりされてきていました。実習を通して、自身の今後の課題を明確にされており、実りある実習となったようでうれしく思いました。
- ・ 行政栄養士としての地域との関わり方について地区組織健康を守る会調理実習では食べる人の気持ちを尊重し、適量バランス良く食べる手法「3、1、2 弁当箱法」への展開が理解できました。離乳食実習では、乳児の食べ方に合わせた試食を作ることができました。多くの方々との出会いを大切に食育活動を広げていかれる栄養士を目指して前進して下さい。
- ・ 1 週間、さまざまな事業に参加し、栄養士の役割や多職種との連携の大切さについて学びました。積極的に質問し、頑張っていました。
- ・ 服装や身だしなみ、あいさつもきちんとしており、礼儀正しく実習に臨んでいました。実習中は積極的にプログラムに取り組んでおり、自分なりに情報の整理・分析・考察を行っている様子うかがえました。
- ・ 行政栄養士に関しても興味を深めてくれた様子で頼もしく感じました。短い期間ながらも内容への理解度が高く、自分の意見をまとめており、今後の活躍に期待がもてました。

薬局実習の評価とご意見



代表的なコメントを抜粋しました。

- ・ きちんとした知識を基にして、積極的に患者さんにお伝えしようとする姿勢は、素晴らしいものでした。患者さんのお話を聞く態度、それに沿って応えたいという高い意識も感じられました。今回の実習で、継続することの大切さを実感でき、媒体もよりよいものができました。今後も広い視野を持って研鑽を積み、患者さんの近くで活躍されますよう期待します。

- ・ 明るい笑顔をやさず、患者さんが話しやすい雰囲気をつくってくださり、たくさんお話を聞くことができました。媒体を使ったり、より具体的にと考える姿勢は、素晴らしいと思いました。今後も持ち前の笑顔と優しい雰囲気を大切にして、広い分野で研鑽を積み、患者さんの近くでご活躍されますよう、期待しています。
- ・ 5日間の短い実習でしたが、実際に患者様とお話する機会などもあり、現場のイメージがわかったり、新しい発見があったのではないかと思います。色々とお話させていただいた中で、もう少し、基本的な栄養の知識（ビタミンやミネラルの役割、またそれが多く含まれる食事など）があると良いと思います。シミュレーションや実際の患者様への対応で、良く話は出来ていましたが、知識に裏打ちされた指導などが出来る、薬局の薬剤師としてはありがたいと思います。
- ・ 積極的に実習に取り組んでいる姿が印象的でした。処方箋の受付をお願いしたときは、不安そうな表情でしたが、丁寧に應對し、言葉遣いも動作もとても良くできていました。のみこみが早く、課題を素早く丁寧に行っていました。試食会では、回を重ねる毎に、どのようにお話ししたら伝わりやすいのか、ということをよく理解できていたと思います。
- ・ 常に落ち着き、ひとつひとつの課題に対して積極的に取り組んでいました。患者様の應對も丁寧に、試食会ではコミュニケーションも上手にとれていたと思います。POP作成も上手く、商品の特徴をとらえていました。レシピ作成では店舗の客層を意識したメニューを選択していたので心遣いに驚きました。
- ・ 挨拶や実習態度、いつも笑顔で好感が持てました。教えた事は、きちんとこなし、積極性もあり、とても良かったです。糖尿病のメニューも順序立てて工夫した点、苦労した点を交えながら、自信を持って説明していただきました。こちらのとっさの質問にも的確に答えられたので感心しました。特保や店内の商品陳列また POS レジ、発注、仕入れ、登録販売者にも興味を持って取り組んでいました。
- ・ 売場での笑顔が素晴らしく、お客様に対しても優しく丁寧な行動がとれていました。イベントの際には、こちらから指示を出す前に自らお客様への呼びかけを開始してくれ、その行動力に感心しました。実習書の内容で、自信の無さが読み取れる部分が数箇所あったのですが、毎日の業務に前向きに取り組み、課題作成においてもペアの学生さんと協力しながら素晴らしい物に仕上げていただきました。こちらとしては、好印象でしたので、もっと自信を持っていただきたいと思いました。

- ・ 実習期間中、常に笑顔で挨拶の声も大きく、スタッフともコミュニケーションがしっかりとれていました。健康食品について説明している際に栄養学の知識の確認のための問いかけをしたところ、こちらの期待以上の返答があり、普段しっかりと勉強されている印象を受けました。ドラッグストアで働く管理栄養士について、これまでイメージしづらかったようですが、今回の実習を通し、健康についての様々なアプローチの方法や取り組みを知って頂き、本人からも「視野が広がった」という言葉を聞くことができました。
- ・ 実習全体を通して、実習を受ける姿勢がとても良いと感じました。こちらが実習の説明や講義をしている時も、まっすぐ相手の顔を見て、しっかりうなずいて実習に励んでいました。また、試食販売でも販売成功しており、特にお客様と笑顔で自然と会話をしているところを見受けました。初めての推奨販売でここまで自然にお客様と短時間で打ち解けられるというのは、とても評価できる点だと思います。接客業や人対人の販売業職にとっても向いていると感じました。これから管理栄養士の資格を取得して頂き、是非人と接する仕事で生かしていける職種などで、活躍して頂きたいなと個人的に思わせて頂きました。
- ・ 薬局（ドラッグストア）における管理栄養士としての業務内容と従業員としての役割・業務内容を分けて説明を致しました。ドラッグストアで働く以上、管理栄養士業務のみをこなすだけでは、社員として成り立たない為、初日にそのような内容を指導致しました。資格とは別の作業になる事が多くなってしまいましたが、真面目に話を聞き、指示した内容を実務としてしっかり行ってくれたと思います。また、なぜそうなのか疑問に思った事はしっかり質問してくれ、積極性もあり、こちらとしても指導しやすかったです。
- ・ セミナーの見学では、参加する方の誘導など、自ら進んで声をかけに行くなど、気遣いや優しさが素晴らしいと感じました。栄養相談の見学や在宅訪問薬剤の見学も行いました。始めは緊張していたようでしたが、少しずつ店舗のスタッフともコミュニケーションをとり、たくさんお話していました。最終日には、来局して下さる方に対する旬の野菜の栄養、見分け方や近隣のお出かけスポットなどをまとめたポスターを作成しました。自らが「どんな事をしたら周りの方が喜んでもらえるか」を自然と考え、行動することができていました。今後のご活躍をお祈りしております。
- ・ 患者様にも優しい笑顔で接して頂き、とても親しみやすい方でした。同じ城西の薬学

生の先輩と一緒に在宅に同行してもらったり、関係者連絡会議に出て頂いたり、実習期間外の小学校の給食室点検にも積極的に来て頂きました。これからの栄養士としての未来を切り開いていくような力のように感じました。短い間でしたが、一緒に勉強できたこととても嬉しく思っています。ありがとうございました。

- ・ 真面目に積極的に実習に取り組んでいました。薬剤師とは違う視点から患者に接していました。又、血圧管理の重要性を認識していない人が多いことに気づき、啓蒙するポスターを作成するなどしていました。志の高さを感じました。
- ・ 今回の実習では調剤薬局での管理栄養士の業務だけではなく薬剤師や医事といった他職種との関わりを通して薬局全体の動きを知ってもらえたと思います。こちらのお話を一生懸命に聞き、知識にしようという姿勢は良かったです。実習書に「～して学んだ」とありましたが、何を学び得たのか、具体的に書けるとより良い実習書になったのではないかと思います。
- ・ 何でも与えられた課題は淡々とこなして頂いたので、予定よりも終わるのが早く日頃大学での勉強をしっかりとされているのだと思います。私が今までやってきたこと、経験したことをお伝えしただけなので、お教えできたことは1つもなかったのですが、この短期間でもしっかりと自ら学び感じとって頂いたのが最後の発表はとても感心致しました。母校のOGとしても、薬局の管理栄養士としてもまた学生と関われることを楽しみにしております。短い間でしたが、ありがとうございました。
- ・ 質問や個々の商品を見て、興味を持つ事は少なかったが（時間もあまりなかった事もあるが）与えられた業務をまじめに丁寧にやっていたので安心して仕事を任せる事ができました。ありがとうございました。

<城西大学所在地>

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1

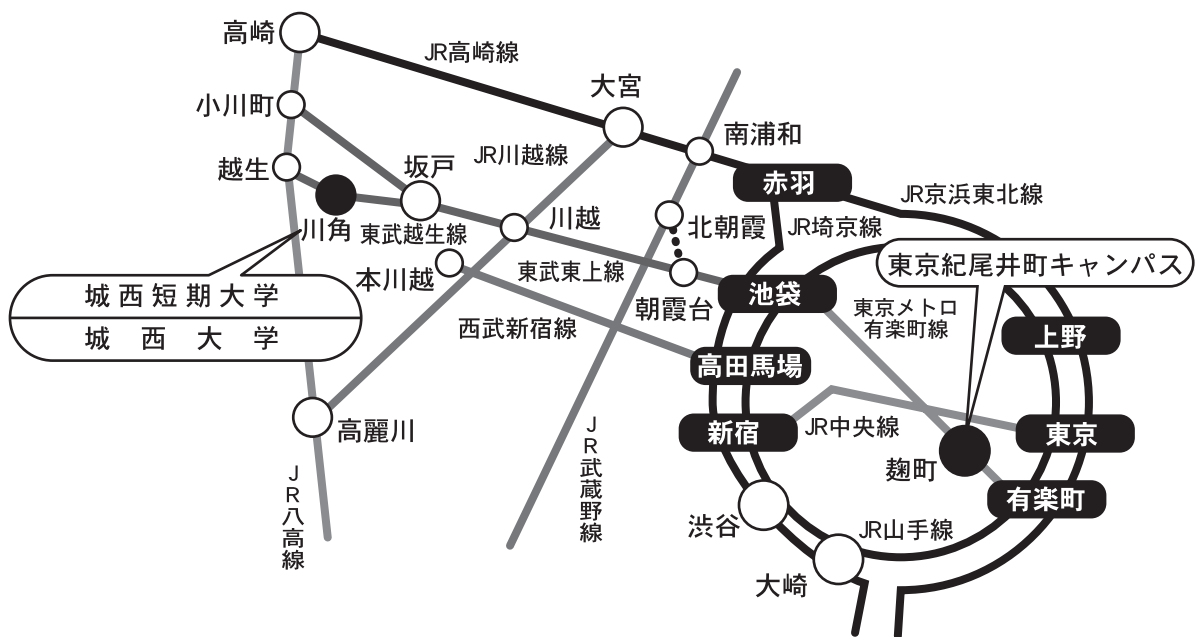
電話 049(271)7711 (代表)

電話 049(271)7729 (薬学部事務室)

ホームページ: <http://www.josai.ac.jp>

<交通案内>

- 1) 東武越生線「川角(かわかど)駅」下車。徒歩10分。
- 2) 関越自動車道「鶴ヶ島インターチェンジ」より車で20分。
- 3) JR八高線「高麗川(こまがわ)」駅よりシャトルバスで15分。



平成 30 年 城西大学薬学部医療栄養学科
臨地・薬局実習報告書

発行日：平成 30 年 10 月 1 日

編 集：城西大学薬学部医療栄養学科
臨地実習委員会

電話・Fax：049 (271) 7264

E-mail：juvrinti@josai.ac.jp